

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	下の沢川事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	新潟県												
実施箇所	新潟県東蒲原郡阿賀町																
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度													
総事業費 (億円)	2.8																
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、昭和42年の羽越豪雨により土石流が発生し、人家や国道49号(緊急輸送路)等に甚大な被害が発生した。</li> <li>・その後の豪雨により、事業区域の溪流に土砂堆積がみられる。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による国道49号(緊急輸送路)等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																
便益の主 な根拠	想定氾濫面積: 20ha 世帯数: 48世帯 重要公共施設: 2施設 主要交通機関: 国道49号(緊急輸送路)、町道 等																
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度															
	B:総便益 (億円)	13	C:総費用(億円)	4.8	B/C 2.7 B-C 8.1 EIRR (%) 12.2												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.6</td> <td>~ 2.8</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.7</td> <td>~ 2.7</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.5</td> <td>~ 2.9</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.6	~ 2.8	残工期(+10%~-10%)	2.7	~ 2.7	資産(-10%~+10%)	2.5	~ 2.9
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	2.6	~ 2.8															
残工期(+10%~-10%)	2.7	~ 2.7															
資産(-10%~+10%)	2.5	~ 2.9															
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>①計画規模の豪雨による土石流被害について、人家48戸、国道49号(緊急輸送路)、石間集会所(指定避難所)等の被害が軽減される。</p> <p>②国道49号等が寸断された場合の地域生活や経済に与える影響を軽減することができる。</p>																
その他	<p>&lt;第三者委員会の意見・反映内容&gt;</p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																



位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	乙吉川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	新潟県																
実施箇所	新潟県長岡市																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、溪流保全工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度																		
総事業費 (億円)	3.1																					
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、平成25年の梅雨前線豪雨により土石流が発生し、人家や国道351号(緊急輸送路)等に甚大な被害が発生した。</li> <li>・その後の豪雨により、事業区域の溪流に土砂堆積がみられる。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による国道351号(緊急輸送路)等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	想定氾濫面積: 2.8ha 世帯数: 77世帯 重要公共施設: 3施設 主要交通機関: 国道351号(緊急輸送路)、県道、市道 等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成27年度																				
	B:総便益 (億円)	12	C:総費用(億円)	4.3	B/C	2.7	B-C	7.3	EIRR (%)	12.4												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.7</td> <td>~ 2.8</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.7</td> <td>~ 2.7</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.6</td> <td>~ 2.9</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.7	~ 2.8	残工期(+10%~-10%)	2.7	~ 2.7	資産(-10%~+10%)	2.6	~ 2.9
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	2.7	~ 2.8																				
残工期(+10%~-10%)	2.7	~ 2.7																				
資産(-10%~+10%)	2.6	~ 2.9																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①計画規模の豪雨による土石流被害について、人家77戸、国道351号(緊急輸送路)等の被害が軽減される。</li> <li>②国道351号等が寸断された場合の地域生活や経済に与える影響を軽減することができる。</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	水上川1事業関連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	新潟県																
実施箇所	新潟県長岡市																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、溪流保全工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度																		
総事業費 (億円)	2.6																					
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、溪流に土砂堆積がみられ、今後の豪雨等に起因する土石流により、人家や国道352号等に基大な被害が発生するおそれがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による国道352号等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	想定氾濫面積: 9.6ha 世帯数: 40世帯 重要公共施設: 2施設 主要交通機関: 国道352号、市道 等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成29年度																				
	B:総便益 (億円)	32	C:総費用(億円)	2.6	B/C	12.4	B-C	29	EIRR (%)	56.8												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>11.4</td> <td>~ 13.7</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>12.4</td> <td>~ 12.4</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>11.7</td> <td>~ 13.2</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	11.4	~ 13.7	残工期(+10%~-10%)	12.4	~ 12.4	資産(-10%~+10%)	11.7	~ 13.2
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	11.4	~ 13.7																				
残工期(+10%~-10%)	12.4	~ 12.4																				
資産(-10%~+10%)	11.7	~ 13.2																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>①計画規模の豪雨による土石流被害について、人家40戸、国道352号、栖吉保育園(要配慮者利用施設・指定避難所)等の被害が軽減される。</p> <p>②国道352号等が寸断された場合の地域生活や経済に与える影響を軽減することができる。</p>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	峠沢事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	新潟県																
実施箇所	新潟県長岡市																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度																		
総事業費 (億円)	1.6																					
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、溪流に土砂堆積がみられ、今後の豪雨等に起因する土石流により、人家や県道寺泊西山線(緊急輸送路)等に甚大な被害が発生するおそれがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による県道寺泊西山線(緊急輸送路)等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	想定氾濫面積: 8.3ha 世帯数: 51世帯 重要公共施設: 2施設 主要交通機関: 県道寺泊西山線(緊急輸送路)、市道 等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成29年度																				
	B: 総便益 (億円)	38	C: 総費用(億円)	1.6	B/C	24.1	B-C	37	EIRR (%)	110.3												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>22.1</td> <td>~ 26.1</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>24.1</td> <td>~ 24.1</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>22.7</td> <td>~ 25.5</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	22.1	~ 26.1	残工期(+10%~-10%)	24.1	~ 24.1	資産(-10%~+10%)	22.7	~ 25.5
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	22.1	~ 26.1																				
残工期(+10%~-10%)	24.1	~ 24.1																				
資産(-10%~+10%)	22.7	~ 25.5																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①計画規模の豪雨による土石流被害について、人家51戸、県道寺泊西山線(緊急輸送路)等の被害が軽減される。</li> <li>②県道等が寸断された場合の地域生活や経済に与える影響を軽減することができる。</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	日尻沢事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	新潟県																
実施箇所	新潟県小千谷市																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、溪流保全工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度																		
総事業費 (億円)	1.9																					
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、溪流に土砂堆積がみられ、今後の豪雨等に起因する土石流により、人家や国道117号(緊急輸送路)等に甚大な被害が発生するおそれがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による国道117号(緊急輸送路)等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主な 根拠	想定氾濫面積: 25ha 世帯数: 20世帯 重要公共施設: 2施設 主要交通機関: 国道117号(緊急輸送路)、市道 等																					
事業全体の 投資効率性	基準年度	平成27年度																				
	B:総便益 (億円)	16	C:総費用(億円)	2.9	B/C	5.5	B-C	13	EIRR (%)	25.2												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>5.1</td> <td>~ 6.1</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>5.5</td> <td>~ 5.5</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>5.2</td> <td>~ 5.8</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	5.1	~ 6.1	残工期(+10%~-10%)	5.5	~ 5.5	資産(-10%~+10%)	5.2	~ 5.8
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	5.1	~ 6.1																				
残工期(+10%~-10%)	5.5	~ 5.5																				
資産(-10%~+10%)	5.2	~ 5.8																				
事業の 効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①計画規模の豪雨による土石流被害について、人家20戸、国道117号(緊急輸送路)等の被害が軽減される。</li> <li>②国道117号等が寸断された場合の地域生活や経済に与える影響を軽減することができる。</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	土口川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	新潟県																
実施箇所	新潟県小千谷市																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度																		
総事業費 (億円)	2.0																					
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、溪流に土砂堆積がみられ、今後の豪雨等に起因する土石流により、人家や国道117号(緊急輸送路)等に甚大な被害が発生するおそれがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による国道117号(緊急輸送路)等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主な 根拠	想定氾濫面積: 15ha 世帯数: 43世帯 重要公共施設: 4施設 主要交通機関: 国道117号(緊急輸送路)、県道、市道、JR 等																					
事業全体の 投資効率性	基準年度	平成27年度																				
	B:総便益 (億円)	35	C:総費用(億円)	1.2	B/C	30.0	B-C	34	EIRR (%)	140.1												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>27.4</td> <td>~ 33.1</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>30.0</td> <td>~ 30.0</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>28.2</td> <td>~ 31.8</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	27.4	~ 33.1	残工期(+10%~-10%)	30.0	~ 30.0	資産(-10%~+10%)	28.2	~ 31.8
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	27.4	~ 33.1																				
残工期(+10%~-10%)	30.0	~ 30.0																				
資産(-10%~+10%)	28.2	~ 31.8																				
事業の 効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①計画規模の豪雨による土石流被害について、人家43戸、国道117号(緊急輸送路)等の被害が軽減される。</li> <li>②国道117号等が寸断された場合の地域生活や経済に与える影響を軽減することができる。</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	水頭川事業間連携砂防等事業		担当課	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課		事業 主体	新潟県															
			担当課長名	今井 一之																		
実施箇所	新潟県魚沼市																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度																		
総事業費 (億円)	1.1																					
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、溪流に土砂堆積がみられ、今後の豪雨等に起因する土石流により、人家や国道290号(緊急輸送路)等に甚大な被害が発生するおそれがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による国道290号(緊急輸送路)等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	想定氾濫面積: 2.8ha 世帯数: 14世帯 重要公共施設: 2施設 主要交通機関: 国道290号(緊急輸送路)、市道 等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成27年度																				
	B:総便益 (億円)	15	C:総費用(億円)	5.0	B/C	2.9	B-C	9.7	EIRR (%)	13.3												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.8</td> <td>~ 3.1</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.9</td> <td>~ 2.9</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.7</td> <td>~ 3.1</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.8	~ 3.1	残工期(+10%~-10%)	2.9	~ 2.9	資産(-10%~+10%)	2.7	~ 3.1
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	2.8	~ 3.1																				
残工期(+10%~-10%)	2.9	~ 2.9																				
資産(-10%~+10%)	2.7	~ 3.1																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①計画規模の豪雨による土石流被害について、人家14戸、国道290号(緊急輸送路)等の被害が軽減される。</li> <li>②国道290号等が寸断された場合の地域生活や経済に与える影響を軽減することができる。</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	品木沢事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	新潟県																
実施箇所	新潟県魚沼市																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度																		
総事業費 (億円)	1.2																					
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、平成23年の新潟福島豪雨により土石流が発生し、国道352号(緊急輸送路)等に甚大な被害が発生した。</li> <li>・その後の豪雨により、事業区域の溪流に土砂堆積がみられる。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による国道352号(緊急輸送路)等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主な 根拠	想定氾濫面積: 2.3ha 重要公共施設: 1施設 主要交通機関: 国道352号(緊急輸送路) 等																					
事業全体の 投資効率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	6.7	C:総費用(億円)	3.4	B/C	2.0	B-C	3.3	EIRR (%)	8.9												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>1.9</td> <td>~ 2.0</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.0</td> <td>~ 2.0</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.0</td> <td>~ 2.0</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	1.9	~ 2.0	残工期(+10%~-10%)	2.0	~ 2.0	資産(-10%~+10%)	2.0	~ 2.0
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	1.9	~ 2.0																				
残工期(+10%~-10%)	2.0	~ 2.0																				
資産(-10%~+10%)	2.0	~ 2.0																				
事業の 効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①計画規模の豪雨による土石流被害について、国道352号(緊急輸送路)等の被害が軽減される。</li> <li>②国道352号等が寸断された場合の地域生活や経済に与える影響を軽減することができる。</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	中里大門川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	新潟県																
実施箇所	新潟県十日町市																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、溪流保全工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度																		
総事業費 (億円)	1.7																					
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、溪流に土砂堆積がみられ、今後の豪雨等に起因する土石流により、人家や国道117号(緊急輸送路)等に甚大な被害が発生するおそれがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による国道117号(緊急輸送路)等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	想定氾濫面積: 7.8ha 世帯数: 42世帯 重要公共施設: 2施設 主要交通機関: 国道117号(緊急輸送路)、市道 等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	48	C:総費用(億円)	4.2	B/C	11.5	B-C	44	EIRR (%)	53.4												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>10.9</td> <td>~ 12.1</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>11.5</td> <td>~ 11.5</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>10.9</td> <td>~ 12.1</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	10.9	~ 12.1	残工期(+10%~-10%)	11.5	~ 11.5	資産(-10%~+10%)	10.9	~ 12.1
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	10.9	~ 12.1																				
残工期(+10%~-10%)	11.5	~ 11.5																				
資産(-10%~+10%)	10.9	~ 12.1																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①計画規模の豪雨による土石流被害について、人家42戸、国道117号(緊急輸送路)等の被害が軽減される。</li> <li>②国道117号等が寸断された場合の地域生活や経済に与える影響を軽減することができる。</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	澁川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	新潟県																
実施箇所	新潟県上越市																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、溪流保全工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度																		
総事業費 (億円)	1.8																					
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、溪流に土砂堆積がみられ、今後の豪雨等に起因する土石流により、人家や国道403号(緊急輸送路)等に甚大な被害が発生するおそれがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による国道403号(緊急輸送路)等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	想定氾濫面積: 7.2ha 世帯数: 13世帯 重要公共施設: 2施設 主要交通機関: 国道403号(緊急輸送路)、市道 等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成27年度																				
	B:総便益 (億円)	11	C:総費用(億円)	2.8	B/C	3.8	B-C	7.7	EIRR (%)	17.3												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>3.4</td> <td>~ 4.2</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>3.8</td> <td>~ 3.8</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>3.6</td> <td>~ 4.0</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	3.4	~ 4.2	残工期(+10%~-10%)	3.8	~ 3.8	資産(-10%~+10%)	3.6	~ 4.0
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	3.4	~ 4.2																				
残工期(+10%~-10%)	3.8	~ 3.8																				
資産(-10%~+10%)	3.6	~ 4.0																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①計画規模の豪雨による土石流被害について、人家13戸、国道403号(緊急輸送路)等の被害が軽減される。</li> <li>②国道403号等が寸断された場合の地域生活や経済に与える影響を軽減することができる。</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	北山川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	新潟県																
実施箇所	新潟県上越市																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度																		
総事業費 (億円)	1.4																					
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、溪流に土砂堆積がみられ、今後の豪雨等に起因する土石流により、人家や国道253号(緊急輸送路)等に甚大な被害が発生するおそれがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による国道253号(緊急輸送路)等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主な 根拠	想定氾濫面積: 5.3ha 世帯数: 23世帯 重要公共施設: 2施設 主要交通機関: 国道253号(緊急輸送路)、市道 等																					
事業全体の 投資効率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	8.7	C:総費用(億円)	1.3	B/C	6.6	B-C	7.3	EIRR (%)	30.3												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>5.0</td> <td>~ 7.2</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>6.6</td> <td>~ 6.6</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>6.2</td> <td>~ 7.0</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	5.0	~ 7.2	残工期(+10%~-10%)	6.6	~ 6.6	資産(-10%~+10%)	6.2	~ 7.0
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	5.0	~ 7.2																				
残工期(+10%~-10%)	6.6	~ 6.6																				
資産(-10%~+10%)	6.2	~ 7.0																				
事業の 効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①計画規模の豪雨による土石流被害について、人家23戸、国道253号(緊急輸送路)等の被害が軽減される。</li> <li>②国道253号等が寸断された場合の地域生活や経済に与える影響を軽減することができる。</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	南沢事業間連携砂防等事業		担当課	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課		事業 主体	新潟県															
実施箇所	新潟県妙高市																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度																		
総事業費 (億円)	1.8																					
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、溪流に土砂堆積がみられ、今後の豪雨等に起因する土石流により、人家や国道292号(緊急輸送路)等に甚大な被害が発生するおそれがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による国道292号(緊急輸送路)等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	想定氾濫面積: 4.9ha 世帯数: 2世帯 重要公共施設: 3施設 主要交通機関: 国道292号(緊急輸送路)、市道 等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成27年度																				
	B:総便益 (億円)	3.7	C:総費用(億円)	1.1	B/C	3.4	B-C	2.6	EIRR (%)	15.6												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>3.1</td> <td>~ 3.8</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>3.4</td> <td>~ 3.4</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>3.2</td> <td>~ 3.6</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	3.1	~ 3.8	残工期(+10%~-10%)	3.4	~ 3.4	資産(-10%~+10%)	3.2	~ 3.6
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	3.1	~ 3.8																				
残工期(+10%~-10%)	3.4	~ 3.4																				
資産(-10%~+10%)	3.2	~ 3.6																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①計画規模の豪雨による土石流被害について、人家2戸、国道292号(緊急輸送路)等の被害が軽減される。</li> <li>②国道292号等が寸断された場合の地域生活や経済に与える影響を軽減することができる。</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	筒石川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	新潟県																
実施箇所	新潟県糸魚川市																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度																		
総事業費 (億円)	1.6																					
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、溪流に土砂堆積がみられ、今後の豪雨等に起因する土石流により、人家や国道8号(緊急輸送路)等に甚大な被害が発生するおそれがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による国道8号(緊急輸送路)等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主な 根拠	想定氾濫面積: 1.0ha 世帯数: 70世帯 重要公共施設: 2施設 主要交通機関: 国道8号(緊急輸送路)、市道 等																					
事業全体の 投資効率性	基準年度	平成27年度																				
	B:総便益 (億円)	17	C:総費用(億円)	5.0	B/C	3.5	B-C	12	EIRR (%)	15.9												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>3.4</td> <td>~ 3.6</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>3.5</td> <td>~ 3.5</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>3.2</td> <td>~ 3.8</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	3.4	~ 3.6	残工期(+10%~-10%)	3.5	~ 3.5	資産(-10%~+10%)	3.2	~ 3.8
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	3.4	~ 3.6																				
残工期(+10%~-10%)	3.5	~ 3.5																				
資産(-10%~+10%)	3.2	~ 3.8																				
事業の 効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①計画規模の豪雨による土石流被害について、人家70戸、国道8号(緊急輸送路)、筒石保育園(要配慮者利用施設)等の被害が軽減される。</li> <li>②国道8号等が寸断された場合の地域生活や経済に与える影響を軽減することができる。</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	丹原川事業間連携砂防等事業		担当課	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課		事業 主体	新潟県															
実施箇所	新潟県上越市																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度																		
総事業費 (億円)	1.2																					
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、溪流に土砂堆積がみられ、今後の豪雨等に起因する土石流により、人家や国道8号(緊急輸送路)等に甚大な被害が発生するおそれがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による国道8号(緊急輸送路)等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	想定氾濫面積: 15.7ha 世帯数: 11世帯 重要公共施設: 3施設 主要交通機関: 国道8号(緊急輸送路)、市道、JR 等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成28年度																				
	B:総便益 (億円)	8.9	C:総費用(億円)	2.7	B/C	3.3	B-C	6.2	EIRR (%)	15.2												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>3.2</td> <td>~ 3.5</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>3.3</td> <td>~ 3.3</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>3.2</td> <td>~ 3.5</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	3.2	~ 3.5	残工期(+10%~-10%)	3.3	~ 3.3	資産(-10%~+10%)	3.2	~ 3.5
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	3.2	~ 3.5																				
残工期(+10%~-10%)	3.3	~ 3.3																				
資産(-10%~+10%)	3.2	~ 3.5																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①計画規模の豪雨による土石流被害について、人家11戸、国道8号(緊急輸送路)、JR北陸本線等の被害が軽減される。</li> <li>②国道8号等が寸断された場合の地域生活や経済に与える影響を軽減することができる。</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	十二社川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	新潟県																
実施箇所	新潟県糸魚川市																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度																		
総事業費 (億円)	1.0																					
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、溪流に土砂堆積がみられ、今後の豪雨等に起因する土石流により、人家や国道8号(緊急輸送路)等に甚大な被害が発生するおそれがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による国道8号(緊急輸送路)等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主な 根拠	想定氾濫面積: 6.2ha 世帯数: 59世帯 重要公共施設: 4施設 主要交通機関: 国道8号(緊急輸送路)、県道、市道、JR 等																					
事業全体の 投資効率性	基準年度	平成28年度																				
	B:総便益 (億円)	25	C:総費用(億円)	2.5	B/C	9.9	B-C	22	EIRR (%)	66.1												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>9.7</td> <td>~ 10.1</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>9.9</td> <td>~ 9.9</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>9.6</td> <td>~ 10.2</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	9.7	~ 10.1	残工期(+10%~-10%)	9.9	~ 9.9	資産(-10%~+10%)	9.6	~ 10.2
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	9.7	~ 10.1																				
残工期(+10%~-10%)	9.9	~ 9.9																				
資産(-10%~+10%)	9.6	~ 10.2																				
事業の 効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①計画規模の豪雨による土石流被害について、人家59戸、国道8号(緊急輸送路)、JR北陸本線等の被害が軽減される。</li> <li>②国道8号等が寸断された場合の地域生活や経済に与える影響を軽減することができる。</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	矢代川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	新潟県																
実施箇所	新潟県妙高市																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度																		
総事業費 (億円)	5.2																					
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、溪流に土砂堆積がみられ、今後の豪雨等に起因する土石流により、人家や国道18号(緊急輸送路)等に甚大な被害が発生するおそれがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による国道18号(緊急輸送路)等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	想定氾濫面積: 200ha 世帯数: 708世帯 重要公共施設: 5施設 主要交通機関: 国道18号(緊急輸送路)、県道、市道 等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	60	C:総費用(億円)	12	B/C	4.8	B-C	48	EIRR (%)	21.5												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>4.6</td> <td>~ 5.1</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>4.9</td> <td>~ 4.9</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>4.5</td> <td>~ 5.2</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	4.6	~ 5.1	残工期(+10%~-10%)	4.9	~ 4.9	資産(-10%~+10%)	4.5	~ 5.2
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	4.6	~ 5.1																				
残工期(+10%~-10%)	4.9	~ 4.9																				
資産(-10%~+10%)	4.5	~ 5.2																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①計画規模の豪雨による土石流被害について、人家708戸、国道18号(緊急輸送路)、矢代保育園及び矢代小学校(要配慮者利用施設・指定避難所)等人家や国道18号等の被害が軽減される。</li> <li>②国道18号等が寸断された場合の地域生活や経済に与える影響を軽減することができる。</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	焼山川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	新潟県																
実施箇所	新潟県糸魚川市																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成38年度																		
総事業費 (億円)	3.5																					
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、昭和49年の噴火に伴い土石流が発生し、公共土木施設の被災や河川埋没等の被害が発生した。</li> <li>・事業区域の溪流では土砂堆積がみられ、今後の豪雨等に起因する土石流により、人家や国道8号(緊急輸送路)等に甚大な被害が発生するおそれがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による国道8号(緊急輸送路)等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主な根拠	想定氾濫面積: 400ha 世帯数: 700世帯 重要公共施設: 6施設 主要交通機関: 国道8号(緊急輸送路)、県道、市道、JR 等																					
事業全体の投資効率性	基準年度	平成29年度																				
	B: 総便益(億円)	264	C: 総費用(億円)	14	B/C	19.3	B-C	250	EIRR (%)	88.5												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>17.6</td> <td>~ 21.5</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>19.4</td> <td>~ 19.4</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>17.9</td> <td>~ 20.9</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	17.6	~ 21.5	残工期(+10%~-10%)	19.4	~ 19.4	資産(-10%~+10%)	17.9	~ 20.9
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	17.6	~ 21.5																				
残工期(+10%~-10%)	19.4	~ 19.4																				
資産(-10%~+10%)	17.9	~ 20.9																				
事業の効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①計画規模の豪雨による土石流被害について、人家700戸、国道8号(緊急輸送路)、JR北陸本線、はやかわ保育園(要配慮者利用施設・指定避難所)、上早川公民館(指定避難所)等人家や国道8号等の被害が軽減される。</li> <li>②国道8号等が寸断された場合の地域生活や経済に与える影響を軽減することができる。</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	火打山川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	新潟県																
実施箇所	新潟県糸魚川市																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度																		
総事業費 (億円)	7.4																					
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、昭和49年の噴火に伴い土石流が発生し、公共土木施設の被災や河川埋没等の被害が発生した。</li> <li>・事業区域の溪流では土砂堆積がみられ、今後の豪雨等に起因する土石流により、人家や国道8号(緊急輸送路)等に甚大な被害が発生するおそれがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による国道8号(緊急輸送路)等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	想定氾濫面積: 400ha 世帯数: 700世帯 重要公共施設: 6施設 主要交通機関: 国道8号(緊急輸送路)、県道、市道、JR 等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成27年度																				
	B:総便益 (億円)	47	C:総費用(億円)	14	B/C	3.2	B-C	32	EIRR (%)	14.6												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>3.1</td> <td>~ 3.4</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>3.2</td> <td>~ 3.2</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>3.0</td> <td>~ 3.5</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	3.1	~ 3.4	残工期(+10%~-10%)	3.2	~ 3.2	資産(-10%~+10%)	3.0	~ 3.5
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	3.1	~ 3.4																				
残工期(+10%~-10%)	3.2	~ 3.2																				
資産(-10%~+10%)	3.0	~ 3.5																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>①計画規模の豪雨による土石流被害について、人家700戸、国道8号(緊急輸送路)、JR北陸本線、はやかわ保育園(要配慮者利用施設・指定避難所)、上早川公民館(指定避難所)等人家や国道8号等の被害が軽減される。</p> <p>②国道8号等が寸断された場合の地域生活や経済に与える影響を軽減することができる。</p>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	五十島地区事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	新潟県																	
実施箇所	新潟県東蒲原郡阿賀町五十島																					
主な事業 の諸元	地すべり防止区域面積:17.1ha 主要施設:横ポーリング工、法枠工、アンカー工、排土工、水路工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成 年度																		
総事業費 (億円)	0.60																					
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では斜面及び擁壁に亀裂等の地すべり兆候が確認されており、近年は降雨量の増大により地すべりブロックの不安定化が懸念されている。</li> <li>・五十島地区について地すべり滑動による家屋や公共施設等への被害が想定される。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・五十島地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、地すべり等による磐越自動車道(緊急輸送路)、県道への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主な根拠	世帯数:118世帯 重要公共施設:4施設 主要交通機関:磐越自動車道(緊急輸送路)、JR磐越西線、等																					
事業全体の投資効率性	基準年度	平成27年度																				
	B:総便益(億円)	76	C:総費用(億円)	3.3	B/C	22.9	B-C	73	EIRR (%)	100.6												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>22.4</td> <td>~ 23.4</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>22.9</td> <td>~ 22.9</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>20.6</td> <td>~ 25.2</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	22.4	~ 23.4	残工期(+10%~-10%)	22.9	~ 22.9	資産(-10%~+10%)	20.6	~ 25.2
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	22.4	~ 23.4																				
残工期(+10%~-10%)	22.9	~ 22.9																				
資産(-10%~+10%)	20.6	~ 25.2																				
事業の効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①五十島地区の地すべり被害について人家118戸、磐越自動車道(緊急輸送路)、三川高齢者生きがいセンター(要配慮者利用施設)の被害が軽減される。</li> <li>②磐越自動車道(緊急輸送路)、JR磐越西線等が寸断された場合の地域生活や経済に与える影響を軽減することができる。</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					



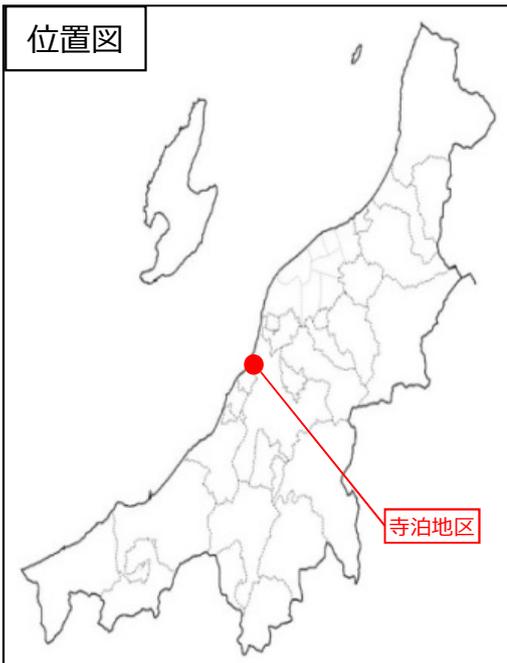
<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	朝日川地区事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	新潟県																
実施箇所	新潟県長岡市山古志竹沢																					
主な事業 の諸元	地すべり防止区域面積:138.9ha 主要施設:横ボ—リング工、法枠工、排土工、集水井工、水路工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成	年度																	
総事業費 (億円)	0.90																					
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、平成16、23年に地すべりが発生しており、県道等に甚大な被害が生じた。</li> <li>・朝日川地区について地すべり滑動による家屋や公共施設等への被害が想定される。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝日川地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、地すべり等による国道291号(緊急輸送路)、県道への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	世帯数:86世帯 重要公共施設:3施設 主要交通機関:国道291号(緊急輸送路)、県道、等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成28年度																				
	B:総便益 (億円)	110	C:総費用(億円)	17	B/C	6.6	B-C	93	EIRR (%)	28.5												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>6.5</td> <td>~ 6.7</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>6.6</td> <td>~ 6.6</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>5.9</td> <td>~ 7.2</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	6.5	~ 6.7	残工期(+10%~-10%)	6.6	~ 6.6	資産(-10%~+10%)	5.9	~ 7.2
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	6.5	~ 6.7																				
残工期(+10%~-10%)	6.6	~ 6.6																				
資産(-10%~+10%)	5.9	~ 7.2																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>①朝日川地区の地すべり被害について人家86戸、国道291号(緊急輸送路)、県道、なごみ苑(要配慮者利用施設・重要)への被害が軽減される。</p> <p>②国道291号(緊急輸送路)、県道等が寸断された場合の地域生活や経済に与える影響を軽減することができる。</p>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

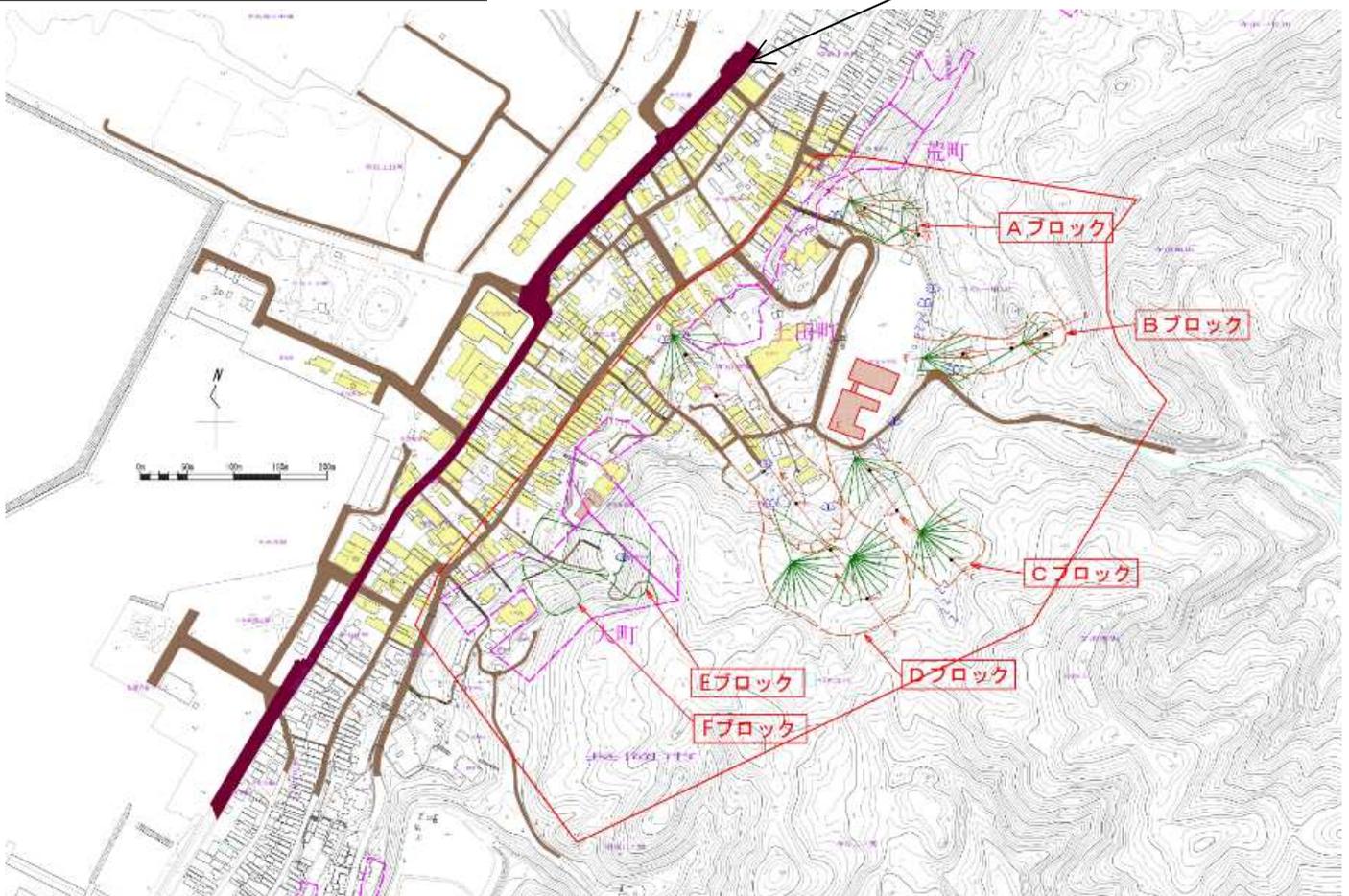


<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	寺泊地区事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	新潟県																
実施箇所	新潟県長岡市寺泊																					
主な事業 の諸元	地すべり防止区域面積:30.32ha(申請中) 主要施設:集水井工、横ポーリング工、水路工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成	年度																	
総事業費 (億円)	2.9																					
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では滑落崖及び亀裂等の地すべり兆候が確認されており、近年は降雨量の増大により地すべりブロックの不安定化が懸念されている。</li> <li>・寺泊地区について地すべり滑動による家屋や公共施設等への被害が想定される。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寺泊地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、地すべり等による国道402号(緊急輸送路)、市道への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	世帯数:200世帯 重要公共施設:3施設 主要交通機関:国道402号(緊急輸送路)、等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成29年度																				
	B:総便益 (億円)	198	C:総費用(億円)	2.8	B/C	70.2	B-C	195	EIRR (%)	319.6												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>64.1</td> <td>~ 77.9</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>70.2</td> <td>~ 70.4</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>63.2</td> <td>~ 77.2</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	64.1	~ 77.9	残工期(+10%~-10%)	70.2	~ 70.4	資産(-10%~+10%)	63.2	~ 77.2
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	64.1	~ 77.9																				
残工期(+10%~-10%)	70.2	~ 70.4																				
資産(-10%~+10%)	63.2	~ 77.2																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>①寺泊地区の地すべり被害について人家200戸、国道402号(緊急輸送路)、寺泊小学校・寺泊保育園(要配慮者利用施設)への被害が軽減される。</p> <p>②国道402号(緊急輸送路)、市道等が寸断された場合の地域生活や経済に与える影響を軽減することができる。</p>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					



国道402号  
(緊急輸送路)



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	虫野地区事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	新潟県												
実施箇所	新潟県魚沼市虫野																
主な事業 の諸元	地すべり防止区域面積:10.41ha 主要施設:集水井工、横ポーリング工、水路工																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成 年度													
総事業費 (億円)	2.4																
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域ではブロック頭部の道路の亀裂等の地すべり兆候が確認されており、近年は降雨量の増大により地すべりブロックの不安定化が懸念されている。</li> <li>・虫野地区について地すべり滑動による家屋や公共施設等への被害が想定される。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・虫野地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、地すべり等による国道17号(緊急輸送路)、県道等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																
便益の主 な根拠	世帯数:74世帯 重要公共施設:5施設 主要交通機関:国道17号(緊急輸送路)、県道、等																
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成27年度															
	B:総便益 (億円)	81	C:総費用(億円)	4.0	B/C 20.3 B-C 77 EIRR (%) 93.5												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>18.4</td> <td>~ 22.7</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>20.3</td> <td>~ 20.4</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>18.6</td> <td>~ 22.1</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	18.4	~ 22.7	残工期(+10%~-10%)	20.3	~ 20.4	資産(-10%~+10%)	18.6	~ 22.1
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	18.4	~ 22.7															
残工期(+10%~-10%)	20.3	~ 20.4															
資産(-10%~+10%)	18.6	~ 22.1															
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>①虫野地区の地すべり被害について人家74戸、国道17号(緊急輸送路)、伊米ヶ崎小学校・伊米ヶ崎デイサービスセンター(要配慮者利用施設)への被害が軽減される。</p> <p>②国道17号(緊急輸送路)、県道等が寸断された場合の地域生活や経済に与える影響を軽減することができる。</p>																
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																

位置図



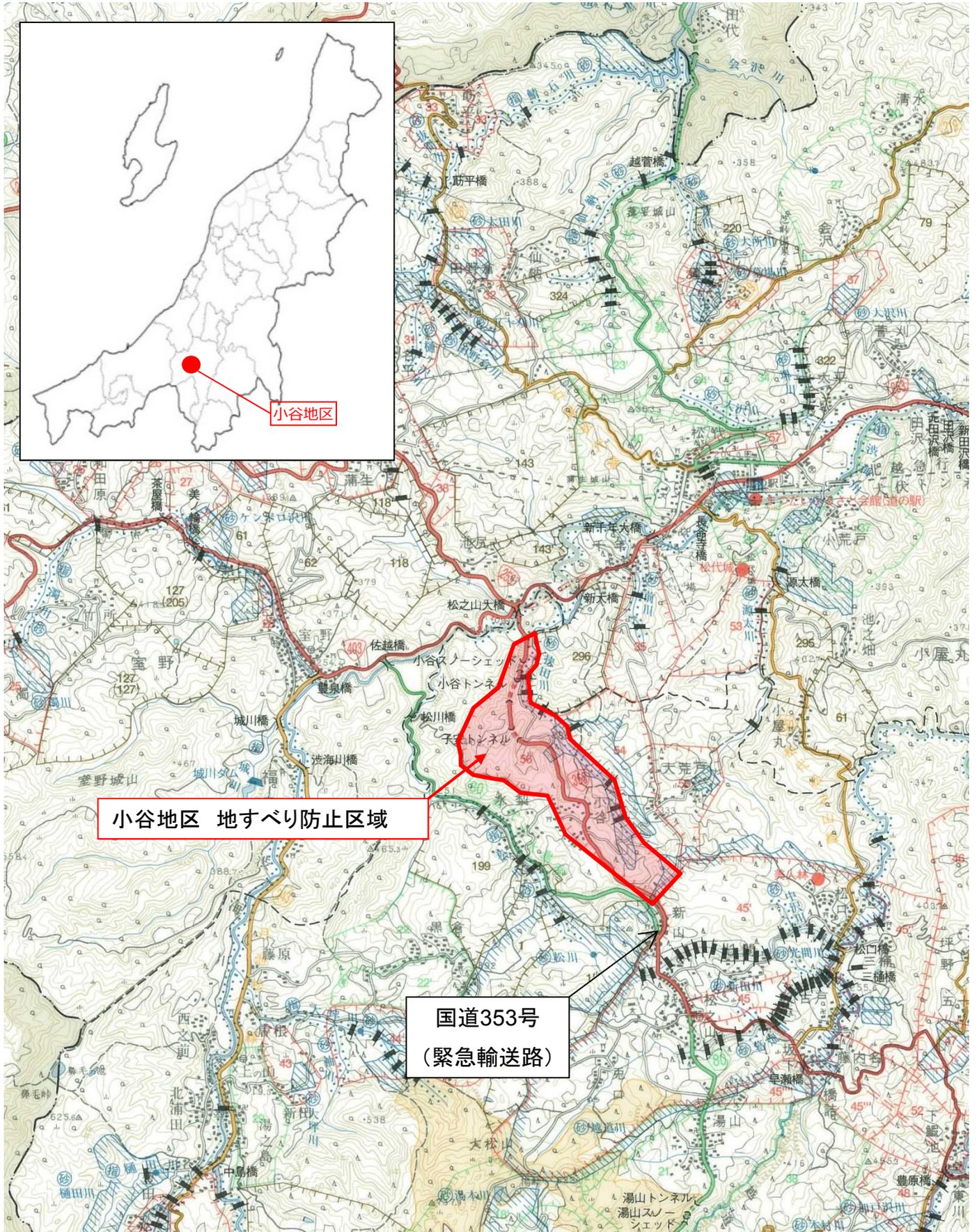
<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	松之山地区事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	新潟県																
実施箇所	新潟県十日町市松之山																					
主な事業 の諸元	地すべり防止区域面積:787.15ha 主要施設:集水井工、集水ポーリング工、杭工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成	年度																	
総事業費 (億円)	1.0																					
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、昭和37年に大規模地すべりが発生しており、人家、県道等に甚大な被害が生じた。</li> <li>・現在でも亀裂や陥没等の地すべり兆候が確認されており、近年は降雨量の増大により地すべりブロックの不安定化が懸念されている。</li> <li>・松之山地区について地すべり滑動による家屋や公共施設等への被害が想定される。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・松之山地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、地すべり等による県道等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主な 根拠	世帯数:7世帯 重要公共施設:3施設 主要交通機関:県道、市道、等																					
事業全体の 投資効率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	18	C:総費用(億円)	4.5	B/C	3.9	B-C	13	EIRR (%)	17.6												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>3.8</td> <td>~ 4.0</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>3.9</td> <td>~ 3.9</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>3.5</td> <td>~ 4.3</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	3.8	~ 4.0	残工期(+10%~-10%)	3.9	~ 3.9	資産(-10%~+10%)	3.5	~ 4.3
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	3.8	~ 4.0																				
残工期(+10%~-10%)	3.9	~ 3.9																				
資産(-10%~+10%)	3.5	~ 4.3																				
事業の 効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①松之山地区の地すべり被害について、人家7戸、県道80号線等への被害が軽減される。</li> <li>②県道80号線等が寸断された場合の地域生活や経済に与える影響を軽減することができる。</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					



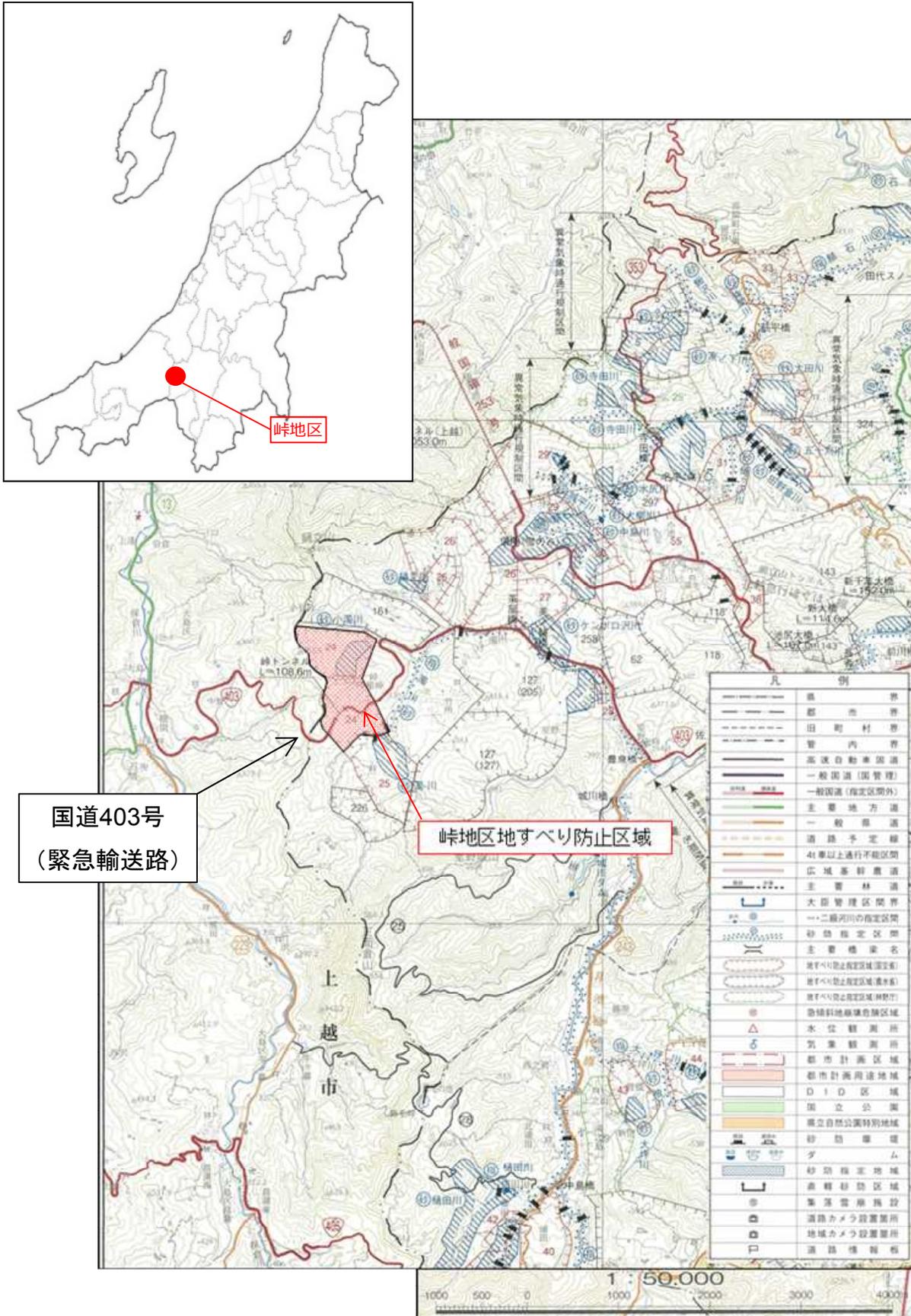
<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	小谷地区事業間連携砂防等事業	担当課	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課	事業 主体	新潟県																		
		担当課長名	今井 一之																				
実施箇所	新潟県十日町市松之山小谷																						
主な事業 の諸元	地すべり防止区域面積:149.46ha 主要施設:集水井工、横ポーリング工、水路工、杭工、床固工																						
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成 年度																			
総事業費 (億円)	1.0																						
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、平成23年長野県北部地震による地すべりが発生しており、県道等に甚大な被害が生じた。</li> <li>・小谷地区について地すべり滑動による家屋や公共施設等への被害が想定される。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小谷地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、地すべり等による国道353号(緊急輸送路)等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																						
便益の主な 根拠	世帯数:24世帯 重要公共施設:2施設 主要交通機関:国道353号(緊急輸送路)、等																						
事業全体の 投資効率性	基準年度	平成27年度																					
	B:総便益 (億円)	19	C:総費用(億円)	14	B/C	1.4	B-C	5.7	EIRR (%)	6.0													
感度分析	<p>全体事業(B/C)</p> <table border="1"> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>1.4</td> <td>~</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>1.4</td> <td>~</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>1.3</td> <td>~</td> <td>1.6</td> </tr> </table>											残事業費(+10%~-10%)	1.4	~	1.4	残工期(+10%~-10%)	1.4	~	1.4	資産(-10%~+10%)	1.3	~	1.6
残事業費(+10%~-10%)	1.4	~	1.4																				
残工期(+10%~-10%)	1.4	~	1.4																				
資産(-10%~+10%)	1.3	~	1.6																				
事業の 効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①小谷地区の地すべり被害について、人家24戸、国道353号(緊急輸送路)等への被害が軽減される。</li> <li>②国道353号(緊急輸送路)、市道等が寸断された場合の地域生活や経済に与える影響を軽減することができる。</li> </ol>																						
その他	<p>&lt;第三者委員会の意見・反映内容&gt;</p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																						



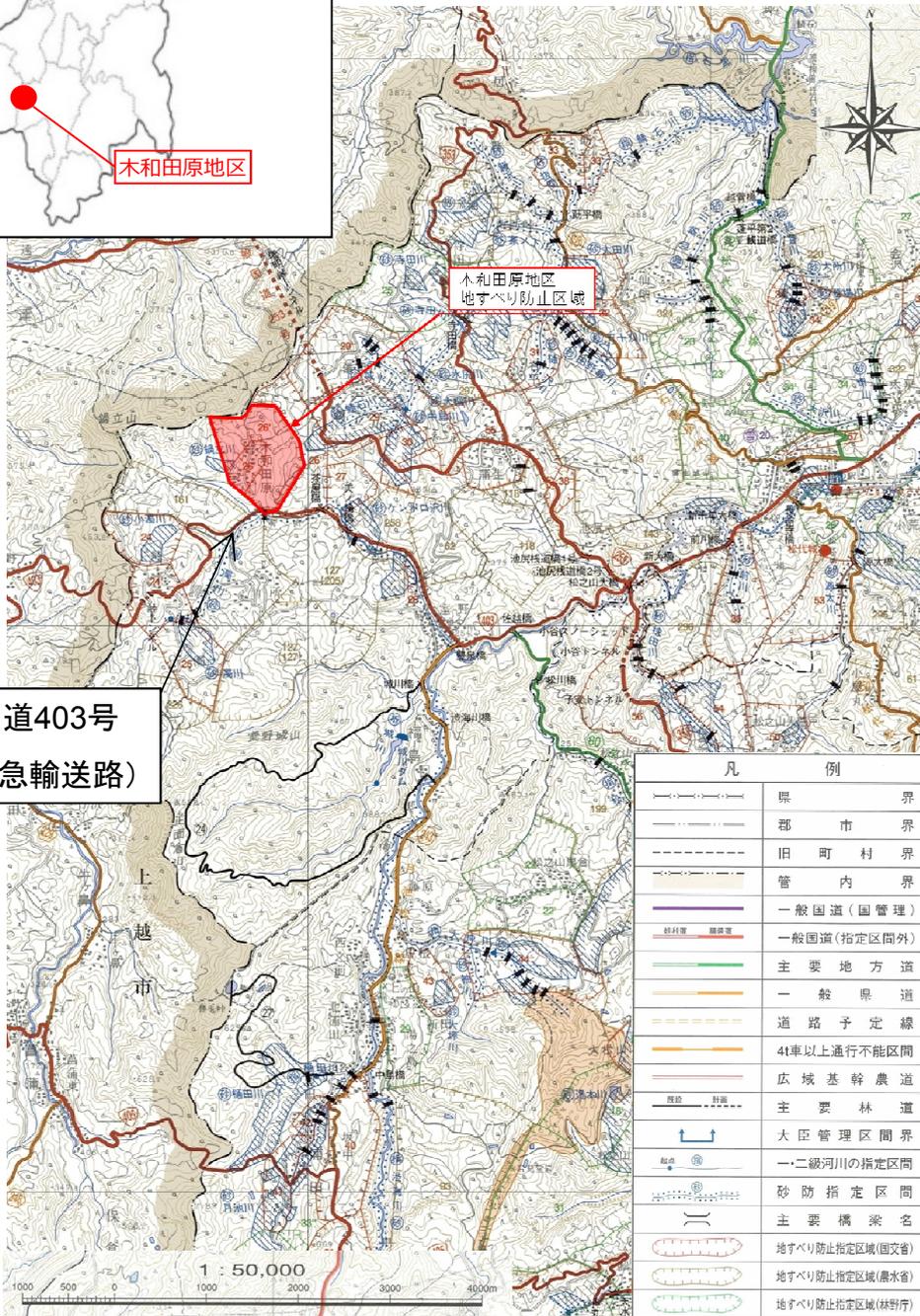
<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	峠地区事業間連携砂防等事業		担当課	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課		事業 主体	新潟県															
			担当課長名	今井 一之																		
実施箇所	新潟県十日町市峠																					
主な事業 の諸元	地すべり防止区域面積:約95.7ha 主要施設:集水井工、横ポーリング工、開渠工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成	年度																	
総事業費 (億円)	1.3																					
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、斜面及び擁壁に亀裂等の地すべり兆候が確認されており、近年は降雨量の増大により地すべりブロックの不安定化が懸念されている。</li> <li>・峠地区について、地すべり滑動による家屋や公共施設等への被害が想定される。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・峠地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、地すべり等による国道403号(緊急輸送路)、県道への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	世帯数:24世帯 重要公共施設:2施設 主要交通機関:国道403号(緊急輸送路)、等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	51	C:総費用(億円)	23	B/C	2.2	B-C	28	EIRR (%)	9.6												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.0</td> <td>~ 2.5</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.2</td> <td>~ 2.2</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.3</td> <td>~ 2.2</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.0	~ 2.5	残工期(+10%~-10%)	2.2	~ 2.2	資産(-10%~+10%)	2.3	~ 2.2
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	2.0	~ 2.5																				
残工期(+10%~-10%)	2.2	~ 2.2																				
資産(-10%~+10%)	2.3	~ 2.2																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 峠地区の地すべり被害について人家24戸、国道403号(緊急輸送路)等の被害が軽減される。</li> <li>② 国道403号(緊急輸送路)が寸断された場合の地域生活や経済に与える影響を軽減することができる。</li> </ol>																					
その他	<p>&lt;第三者委員会の意見・反映内容&gt;</p> <p>砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた</p>																					



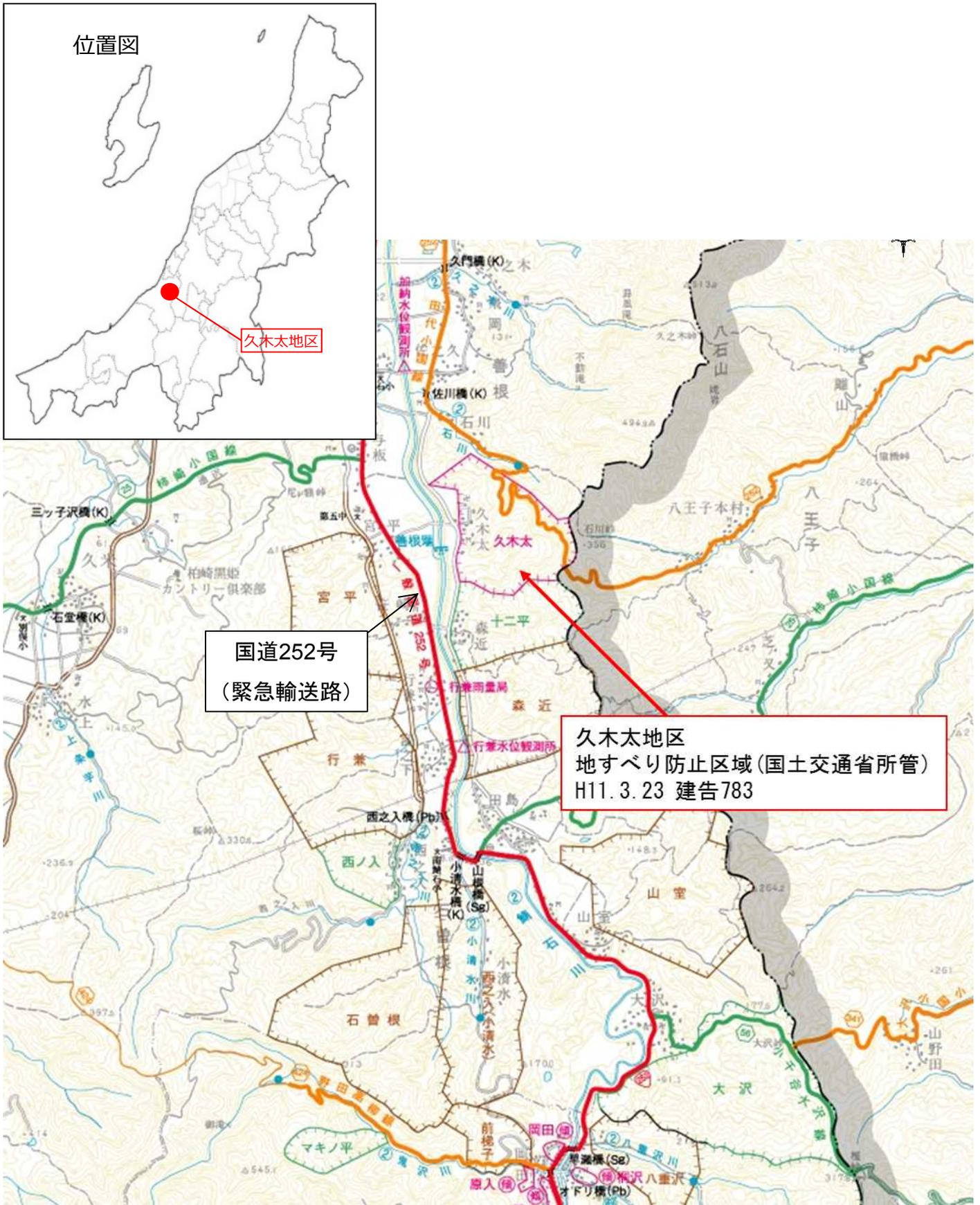
<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	木和田原地区事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	新潟県																
実施箇所	新潟県十日町市木和田原																					
主な事業 の諸元	地すべり防止区域面積:約153.5ha 主要施設:横ポーリング工、開渠工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成	年度																	
総事業費 (億円)	1.0																					
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、斜面及び擁壁に亀裂等の地すべり兆候が確認されており、近年は降雨量の増大により地すべりブロックの不安定化が懸念されている。</li> <li>・木和田原地区について、地すべり滑動による家屋や公共施設等への被害が想定される。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木和田原地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、地すべり等による国道403号(緊急輸送路)への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	世帯数:23世帯 重要公共施設:2施設 主要交通機関:国道403号(緊急輸送路)、等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成29年度																				
	B:総便益 (億円)	33	C:総費用(億円)	5.2	B/C	6.4	B-C	28	EIRR (%)	27.8												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>5.3</td> <td>~ 6.4</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>6.4</td> <td>~ 6.4</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>5.8</td> <td>~ 5.8</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	5.3	~ 6.4	残工期(+10%~-10%)	6.4	~ 6.4	資産(-10%~+10%)	5.8	~ 5.8
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	5.3	~ 6.4																				
残工期(+10%~-10%)	6.4	~ 6.4																				
資産(-10%~+10%)	5.8	~ 5.8																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 木和田原地区の地すべり被害について人家23戸、国道403号(緊急輸送路)等の被害が軽減される。</li> <li>② 国道403号(緊急輸送路)が寸断された場合の地域生活や経済に与える影響を軽減することができる。</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					



<新規事業採択時評価>

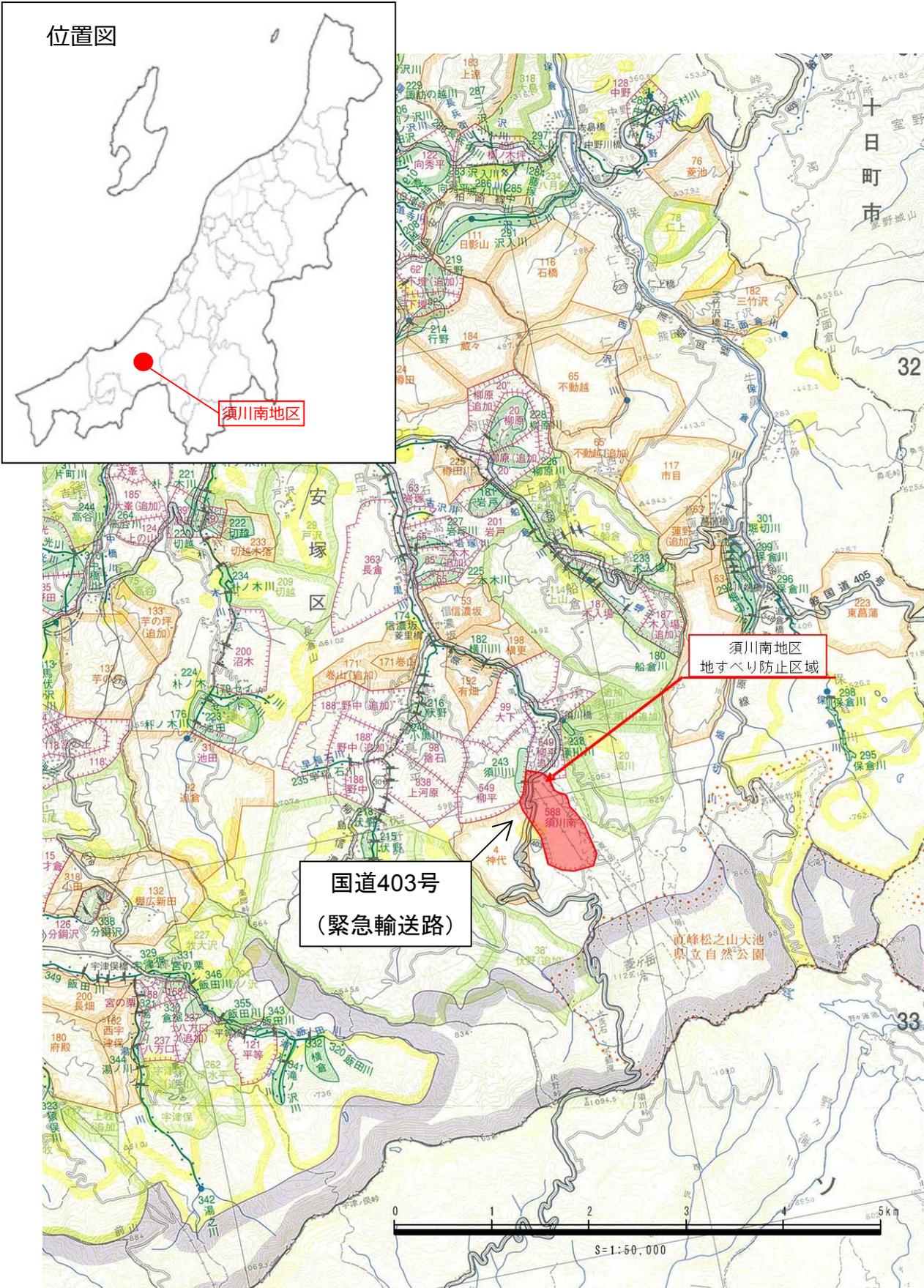
事業名 (箇所名)	久木太地区事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	新潟県												
実施箇所	新潟県柏崎市善根																
主な事業 の諸元	地すべり防止区域面積:約106.9ha 主要施設:集水井工、横ボーリング工、開渠工																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成 年度													
総事業費 (億円)	1.0																
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、斜面及び擁壁に亀裂等の地すべり兆候が確認されており、近年は降雨量の増大により地すべりブロックの不安定化が懸念されている。</li> <li>・久木太地区について、地すべり滑動による家屋や公共施設等への被害が想定される。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・久木太地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、地すべり等による県道252号線への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																
便益の主 な根拠	世帯数:29世帯 重要公共施設:2施設 主要交通機関:県道252号線、等																
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成27年度															
	B:総便益 (億円)	45	C:総費用(億円)	7.7	B/C 5.8 B-C 37 EIRR (%) 25.2												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>5.3</td> <td>~ 6.4</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>5.8</td> <td>~ 5.8</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>5.8</td> <td>~ 5.8</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	5.3	~ 6.4	残工期(+10%~-10%)	5.8	~ 5.8	資産(-10%~+10%)	5.8	~ 5.8
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	5.3	~ 6.4															
残工期(+10%~-10%)	5.8	~ 5.8															
資産(-10%~+10%)	5.8	~ 5.8															
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 久木太地区の地すべり被害について人家29戸、県道252号線等の被害が軽減される。</li> <li>② 県道252号線が寸断された場合の地域生活や経済に与える影響を軽減することができる。</li> </ol>																
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	須川南地区事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	新潟県																
実施箇所	新潟県上越市塚塚区須川																					
主な事業 の諸元	地すべり防止区域面積:約59ha 主要施設:集水井、横ポーリング工、開渠工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成	年度																	
総事業費 (億円)	1.3																					
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、斜面及び擁壁に亀裂等の地すべり兆候が確認されており、近年は降雨量の増大により地すべりブロックの不安定化が懸念されている。</li> <li>・須川南地区について、地すべり滑动による家屋や公共施設等への被害が想定される。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・須川南地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、地すべり等による国道403号(緊急輸送路)への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	世帯数:40世帯 重要公共施設:2施設 主要交通機関:国道403号(緊急輸送路)、等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	12	C:総費用(億円)	9.5	B/C	1.3	B-C	2.8	EIRR (%)	5.5												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>1.2</td> <td>~ 1.4</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>1.3</td> <td>~ 1.3</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>1.3</td> <td>~ 1.2</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	1.2	~ 1.4	残工期(+10%~-10%)	1.3	~ 1.3	資産(-10%~+10%)	1.3	~ 1.2
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	1.2	~ 1.4																				
残工期(+10%~-10%)	1.3	~ 1.3																				
資産(-10%~+10%)	1.3	~ 1.2																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 須川南地区の地すべり被害について人家40戸、国道403号(緊急輸送路)等の被害が軽減される。</li> <li>② 国道403号(緊急輸送路)が寸断された場合の地域生活や経済に与える影響を軽減することができる。</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					

位置図



<新規事業採択時評価>

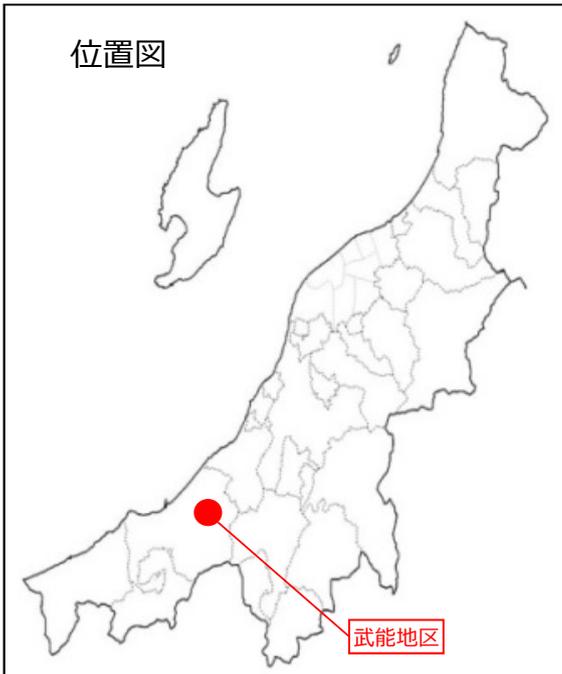
事業名 (箇所名)	武能地区事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	新潟県												
実施箇所	新潟県上越市安塚区坊金																
主な事業 の諸元	地すべり防止区域面積:約54.1ha 主要施設:横ボーリング工、水路工、床固工																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成 年度													
総事業費 (億円)	1.3																
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、斜面及び擁壁に亀裂等の地すべり兆候が確認されており、近年は降雨量の増大により地すべりブロックの不安定化が懸念されている。</li> <li>・武能地区について、地すべり滑動による家屋や公共施設等への被害が想定される。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・武能地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、地すべり等による県道503号線への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																
便益の主 な根拠	世帯数:19世帯 重要公共施設:2施設 主要交通機関:県道503号線、等																
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成27年度															
	B:総便益 (億円)	36	C:総費用(億円)	1.5	B/C 24.3 B-C 35 EIRR (%) 110.4												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>22.1</td> <td>~ 27.0</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>24.3</td> <td>~ 24.3</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>24.5</td> <td>~ 24.1</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	22.1	~ 27.0	残工期(+10%~-10%)	24.3	~ 24.3	資産(-10%~+10%)	24.5	~ 24.1
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	22.1	~ 27.0															
残工期(+10%~-10%)	24.3	~ 24.3															
資産(-10%~+10%)	24.5	~ 24.1															
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 武能地区の地すべり被害について人家19戸、県道503号線の被害が軽減される。</li> <li>② 県道503号線が寸断された場合の地域生活や経済に与える影響を軽減することができる。</li> </ol>																
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																



NIIGATA  
PREFECTURE

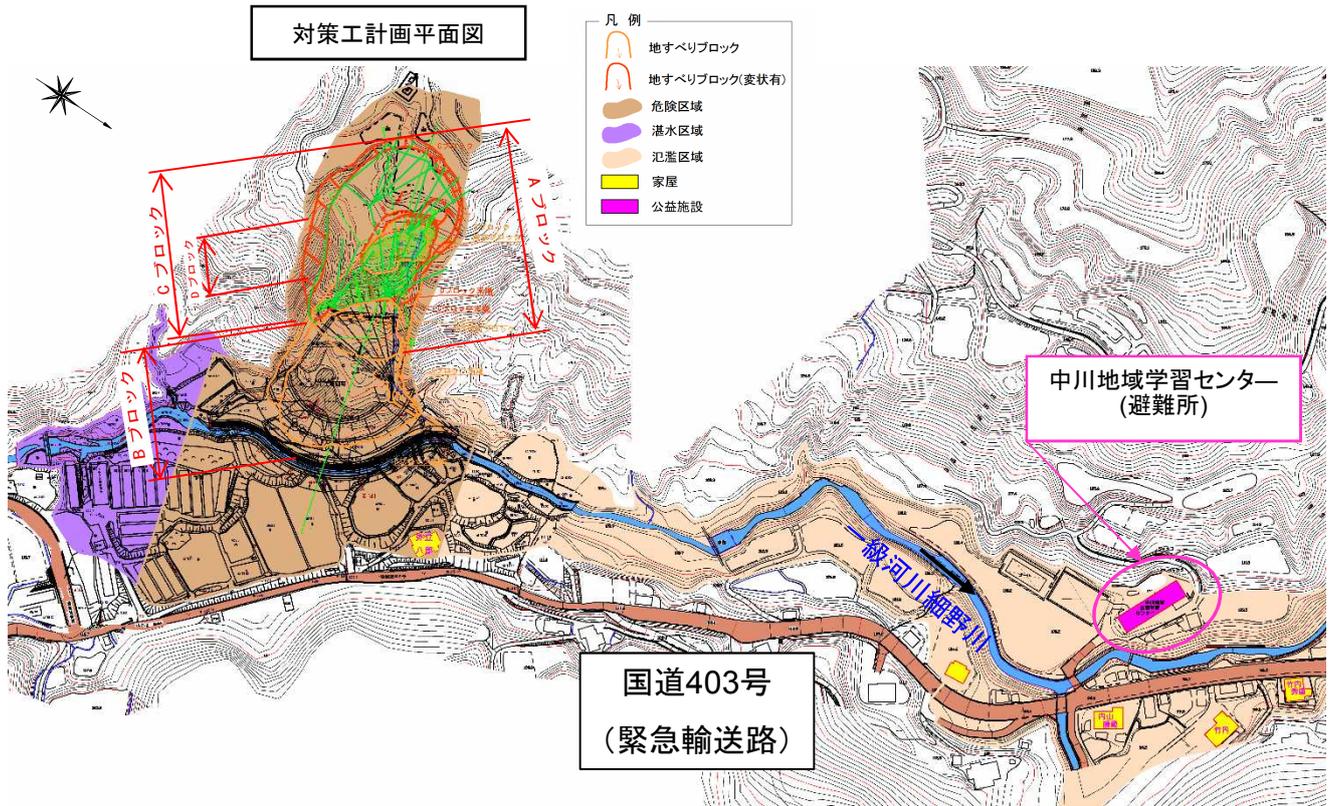
新潟県上越市 武能地区 事業間連携砂防等事業 位置図

位置図



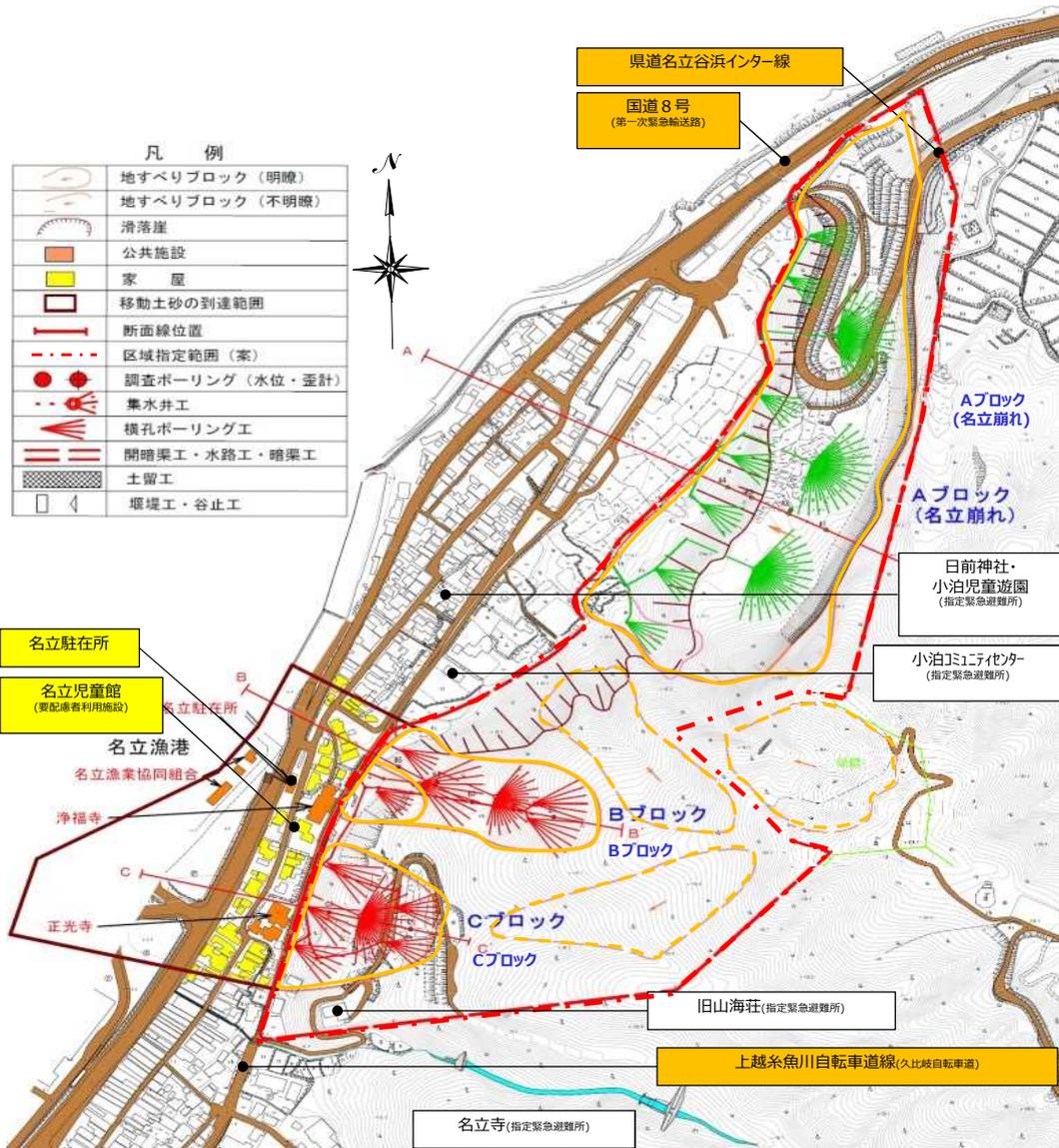
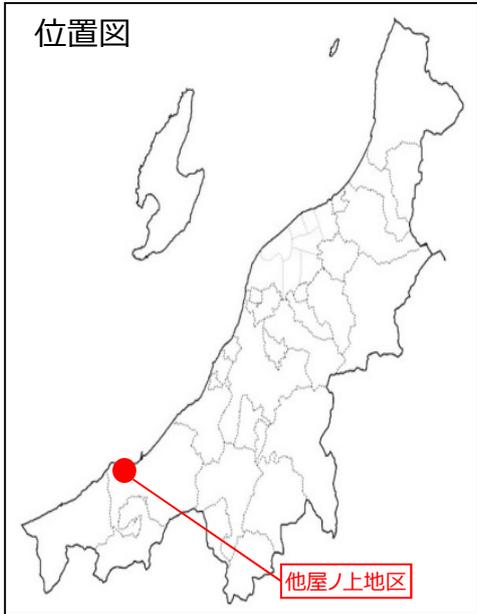
<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	向山地区事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	新潟県												
実施箇所	新潟県上越市安塚区坊金																
主な事業 の諸元	地すべり防止区域面積:約56ha 主要施設:吹付法枠工、横ポーリング工、水路工																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成 年度													
総事業費 (億円)	1.1																
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、平成28年に地すべりが発生しており、近年は降雨量の増大により地すべりブロックの不安定化が懸念されている。</li> <li>・向山地区については地すべり活動による家屋や公共施設等への被害が想定される。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・向山地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、地すべり等による国道403号(緊急輸送路)、重要公共施設(電波塔)への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・政策目標:水害・土砂災害の防止・減災を軽減する</li> </ul>																
便益の主な 根拠	世帯数:21世帯 重要公共施設2施設 主要交通機関:国道403号(緊急輸送路)他																
事業全体の 投資効率性	基準年度	平成30年度															
	B:総便益 (億円)	2.5	C:総費用(億円)	1.0	B/C 2.6 B-C 1.6 EIRR (%) 12.0												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.4</td> <td>~ 2.9</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.6</td> <td>~ 2.6</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.5</td> <td>~ 2.7</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.4	~ 2.9	残工期(+10%~-10%)	2.6	~ 2.6	資産(-10%~+10%)	2.5	~ 2.7
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	2.4	~ 2.9															
残工期(+10%~-10%)	2.6	~ 2.6															
資産(-10%~+10%)	2.5	~ 2.7															
事業の 効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①向山地区の地すべり被害について人家21戸、重要公共施設(電波塔)の被害が軽減される。</li> <li>②国道403号(緊急輸送路)等が寸断された場合の地域生活や経済に与える影響を軽減することができる。</li> </ol>																
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																



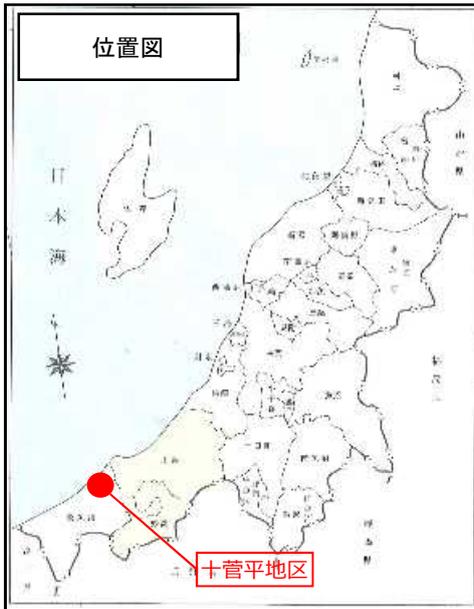
<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	他屋ノ上地区事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	新潟県																
実施箇所	新潟県上越市名立区名立小泊																					
主な事業 の諸元	地すべり防止区域面積:約25.7ha 主要施設:集水井、横ボ—リング工、水路工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成	年度																	
総事業費 (億円)	3.3																					
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、斜面及び擁壁に亀裂等の地すべり兆候が確認されており、近年は降雨量の増大により地すべりブロックの不安定化が懸念されている。</li> <li>・他屋ノ上地区について、地すべり滑動による家屋や公共施設等への被害が想定される。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他屋ノ上地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、地すべり等による国道8号(緊急輸送路)への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	世帯数:88世帯 重要公共施設:2施設 主要交通機関:国道8号(緊急輸送路)、等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成29年度																				
	B:総便益 (億円)	158	C:総費用(億円)	3.5	B/C	45.1	B-C	155	EIRR (%)	207.5												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>40.9</td> <td>~ 50.1</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>45.1</td> <td>~ 45.1</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>45.1</td> <td>~ 45.0</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	40.9	~ 50.1	残工期(+10%~-10%)	45.1	~ 45.1	資産(-10%~+10%)	45.1	~ 45.0
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	40.9	~ 50.1																				
残工期(+10%~-10%)	45.1	~ 45.1																				
資産(-10%~+10%)	45.1	~ 45.0																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 他屋ノ上地区の地すべり被害について人家88戸、国道8号(緊急輸送路)等の被害が軽減される。</li> <li>② 国道8号(緊急輸送路)が寸断された場合の地域生活や経済に与える影響を軽減することができる。</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	十菅平地区事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	新潟県																
実施箇所	新潟県上越市名立区名立大町																					
主な事業 の諸元	地すべり防区域面積:36.73ha 主要施設:集水井工、横孔ポーリング工、水路工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成	年度																	
総事業費 (億円)	4.2																					
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、斜面に地すべり兆候が確認されており、近年は降雨量の増大により地すべりブロックの不安定化が懸念されている。</li> <li>・十菅平地区については地すべり活動による家屋や公共施設等への被害が想定される。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・十菅平地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、地すべり等による北陸自動車道(緊急輸送路)、国道8号(緊急輸送路)、重要公共施設(市役所)への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・政策目標:水害・土砂災害の防止・減災を軽減する</li> </ul>																					
便益の主な 根拠	世帯数:230世帯 重要公共施設:4施設 主要交通機関:国道8号(緊急輸送路)、北陸自動車道(緊急輸送路)等																					
事業全体の 投資効率性	基準年度	平成29年度																				
	B:総便益 (億円)	171	C:総費用(億円)	3.9	B/C	43.8	B-C	168	EIRR (%)	199.7												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>40.5</td> <td>~ 47.8</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>44.0</td> <td>~ 43.7</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>42.7</td> <td>~ 34.7</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	40.5	~ 47.8	残工期(+10%~-10%)	44.0	~ 43.7	資産(-10%~+10%)	42.7	~ 34.7
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	40.5	~ 47.8																				
残工期(+10%~-10%)	44.0	~ 43.7																				
資産(-10%~+10%)	42.7	~ 34.7																				
事業の 効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①十菅平地区の地すべり被害について人家230戸、北陸自動車道(緊急輸送路)、国道8号(緊急輸送路)等の被害が軽減される。</li> <li>②北陸自動車道(緊急輸送路)、国道8号(緊急輸送路)等が寸断された場合の地域生活や経済に与える影響を軽減することができる。</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					



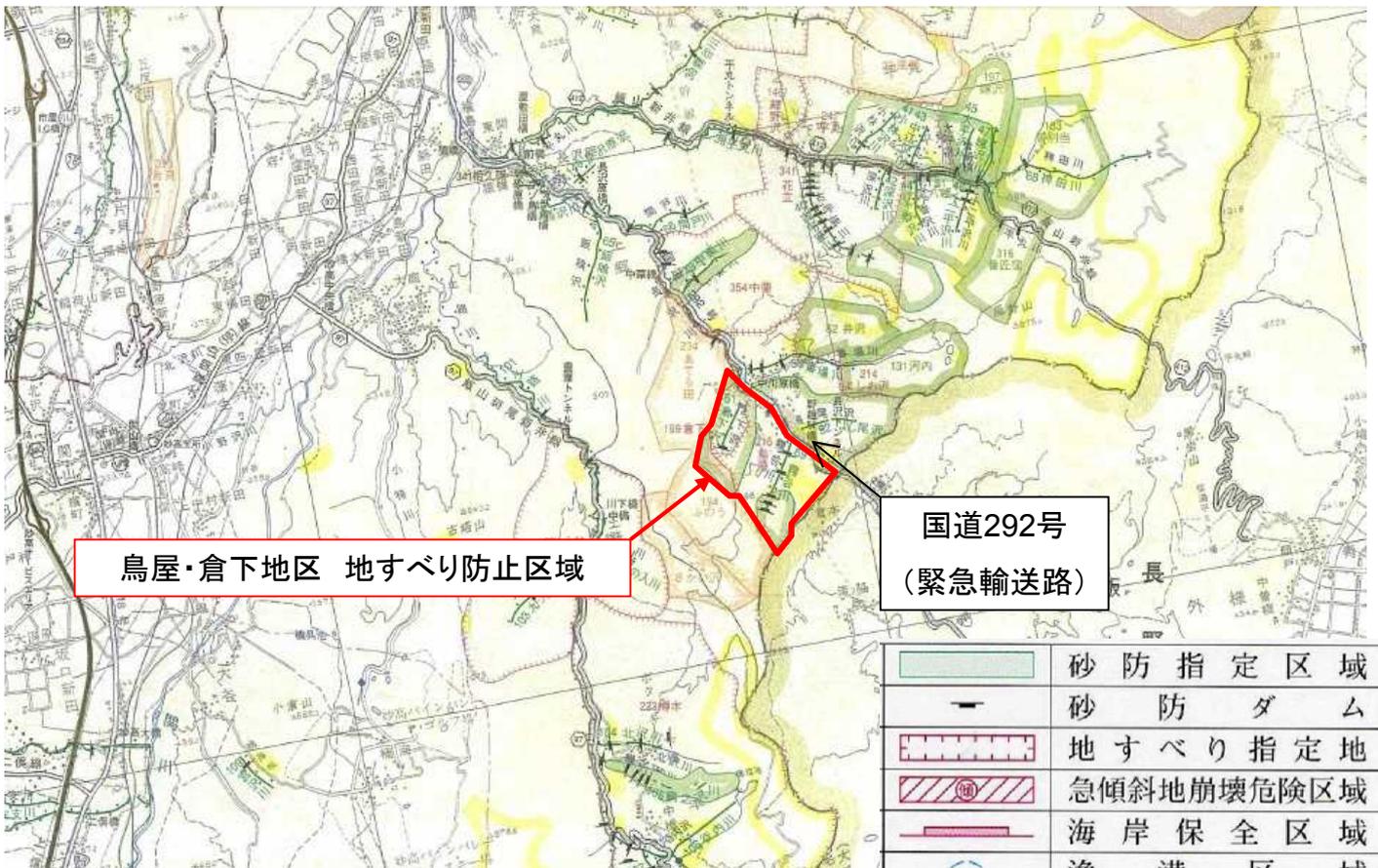
国道8号  
(緊急輸送路)

北陸自動車道  
(緊急輸送路)



<新規事業採択時評価>

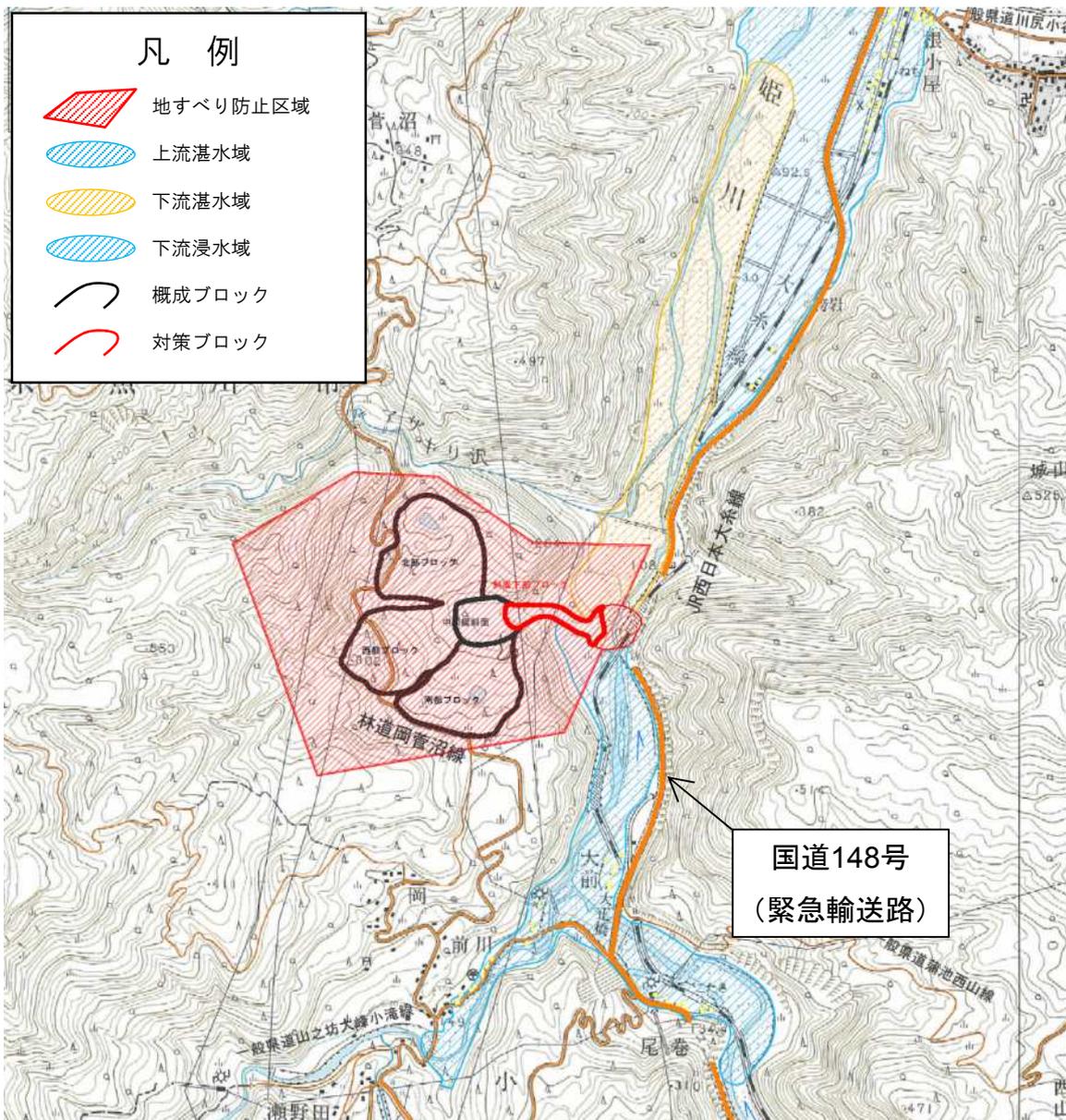
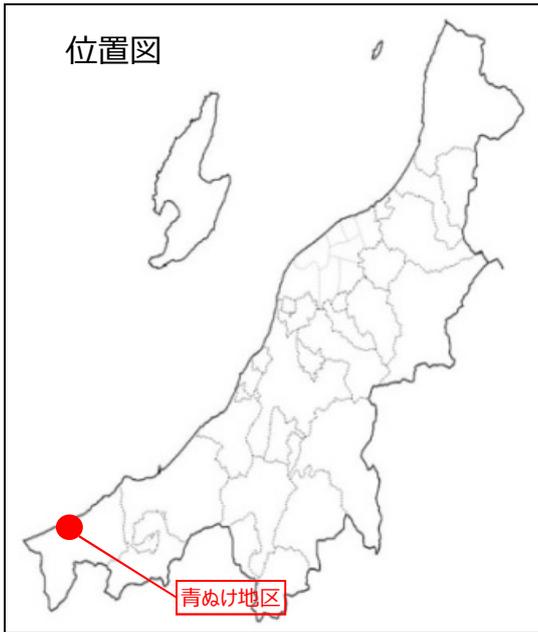
事業名 (箇所名)	鳥屋・倉下地区事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	新潟県																
実施箇所	新潟県妙高市長沢																					
主な事業 の諸元	防止区域面積:59.65ha 主要施設:法枠工+鉄筋挿入工, 横孔ボーリング工, 水路工, 床固工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成	年度																	
総事業費 (億円)	3.8																					
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、平成30年に地すべりが発生し、流出した崩壊土砂が1級河川長沢川に到達した。近年は降雨量の増大により地すべりブロックの不安定化が懸念されている。</li> <li>・鳥屋・倉下地区において降雨により下流へ流化する土砂について対策施設の整備を行い、地すべり等による国道292号(緊急輸送路)等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥屋・倉下地区において降雨により下流へ流化する土砂について対策施設の整備を行い、地すべり等による国道292号(緊急輸送路)等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	想定氾濫面積:3.6ha 世帯数:11世帯 重要公共施設:1施設 主要交通機関:国道292号(緊急輸送路)等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	13	C:総費用(億円)	3.5	B/C	3.8	B-C	9.9	EIRR (%)	17.6												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>3.5</td> <td>~ 4.3</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>3.8</td> <td>~ 3.8</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>3.9</td> <td>~ 3.8</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	3.5	~ 4.3	残工期(+10%~-10%)	3.8	~ 3.8	資産(-10%~+10%)	3.9	~ 3.8
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	3.5	~ 4.3																				
残工期(+10%~-10%)	3.8	~ 3.8																				
資産(-10%~+10%)	3.9	~ 3.8																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①鳥屋・倉下地区の地すべり被害について人家11戸、国道292号(緊急輸送路)等の被害が軽減される。</li> <li>②国道292号(緊急輸送路)等が寸断された場合の地域生活や経済に与える影響を軽減することができる。</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					



	砂防指定区域
	砂防ダム
	地すべり指定地
	急傾斜地崩壊危険区域
	海岸保全区域
	漁港区域
	都市計画区域
	市街化区域
	水防倉庫
	与板維持管理事務所
	役場・支所

<新規事業採択時評価>

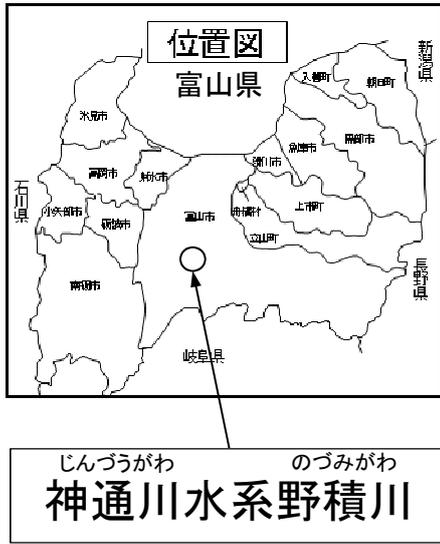
事業名 (箇所名)	青ぬけ地区事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 今井 一之	事業 主体	新潟県																
実施箇所	新潟県糸魚川市小滝																					
主な事業 の諸元	防止区域面積:70.79ha 主要施設:集水井工、横ポーリング工、水路工、土留工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成	年度																	
総事業費 (億円)	1.5																					
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、平成28年及び平成29年に地すべりが発生しており、近年は降雨量の増大により地すべりブロックの不安定化が懸念されている。</li> <li>・青ぬけ地区については地すべり活動による家屋や公共施設等への被害が想定される。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青ぬけ地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、地すべり等による国道148号(緊急輸送路)等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・政策目標:水害・土砂災害の防止・減災を軽減する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	想定氾濫面積:60ha 世帯数:55世帯 重要公共施設:2施設 主要交通機関:国道148号(緊急輸送路)、JR大系線、等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	49	C:総費用(億円)	43	B/C	1.1	B-C	5.9	EIRR (%)	4.7												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>1.1</td> <td>~ 1.1</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>1.1</td> <td>~ 1.1</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>1.1</td> <td>~ 1.1</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	1.1	~ 1.1	残工期(+10%~-10%)	1.1	~ 1.1	資産(-10%~+10%)	1.1	~ 1.1
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	1.1	~ 1.1																				
残工期(+10%~-10%)	1.1	~ 1.1																				
資産(-10%~+10%)	1.1	~ 1.1																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①青ぬけ地区の地すべり被害について人家55戸、JR大系線等の被害が軽減される。</li> <li>②国道148号(緊急輸送路)等が寸断された場合の地域生活や経済に与える影響を軽減することができる。</li> </ol>																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 砂防事業評価委員会において、平成31年度からの予算化が妥当と意見をいただいた																					



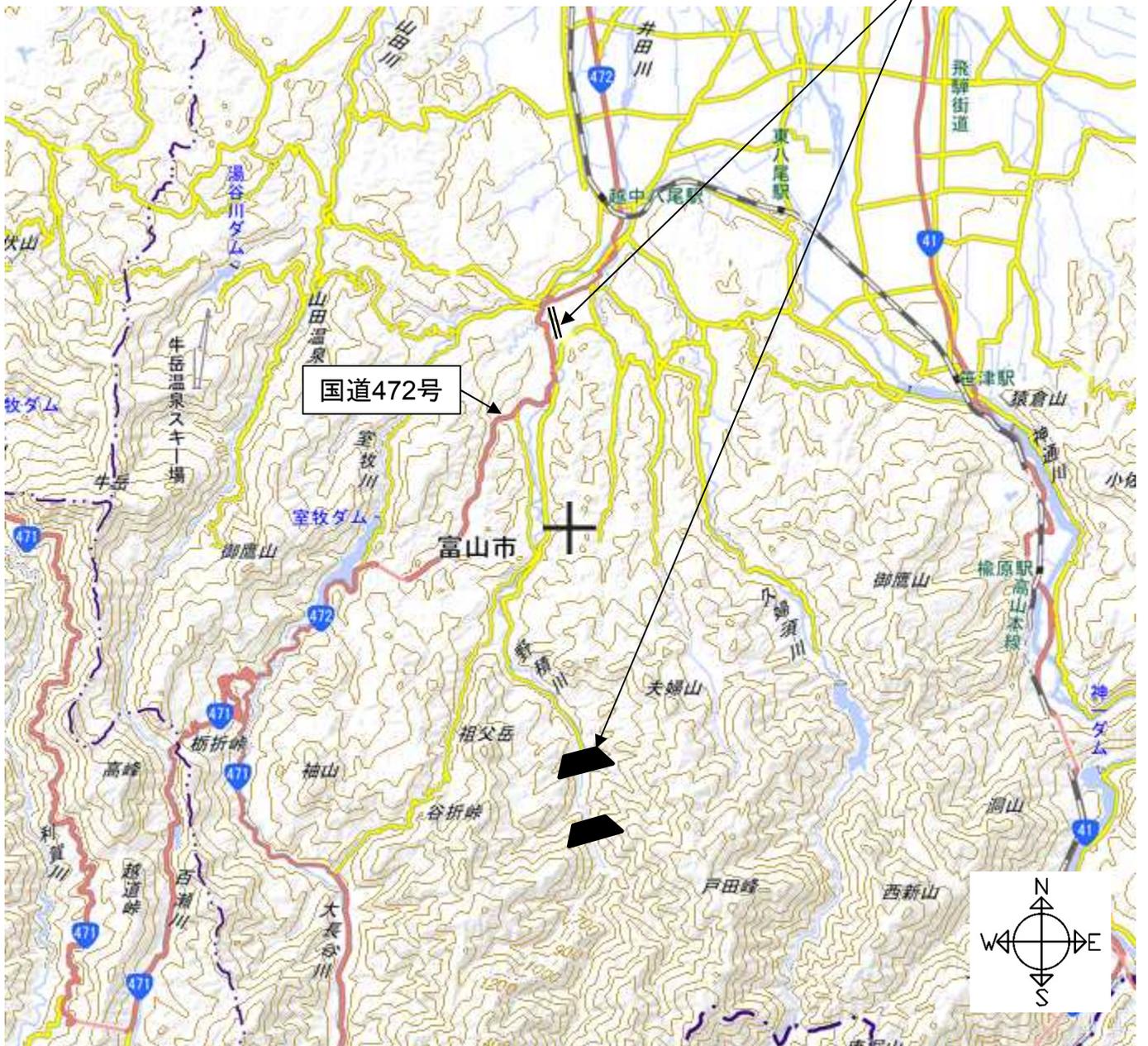
<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	野積川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部砂 防計画課 今井 一之	事業 主体	富山県																
実施箇所	富山県富山市八尾町東葛坂～獺師ヶ原																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤、溪流保全工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成39年度																		
総事業費 (億円)	4.3																					
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本溪流は上流の山腹の風化が著しく、渓床には不安定な土砂が多量に堆積し、大正3年豪雨災害を始め、出水により幾度となく土砂が流出している。</li> <li>・これまで砂防堰堤28基、床固工7基を整備してきているが、土砂整備率は44%と、土砂災害に対し、未だ不十分である。</li> <li>・中下流部においては、河床低下が進行しており、露岩箇所や護岸基礎が露出している箇所が多く見られ国道等の保全箇所が近接する区間では、早急な対策を実施していく必要がある、</li> <li>・今後豪雨発生の際には、主要交通網である国道472号をはじめ、下流の人家123戸や公共施設等(浄水場、体育館)に多大な被害を及ぼす恐れがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東葛坂地区等において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による国道472号等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	保全対象: 人家123戸、高熊ふれあいセンター、西新町浄化場、国道472号、県道224号 等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	13	C:総費用(億円)	6.4	B/C	2.0	B-C	6.8	EIRR (%)	10.8												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>1.9</td> <td>~ 2.2</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.0</td> <td>~ 2.1</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>1.9</td> <td>~ 2.3</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	1.9	~ 2.2	残工期(+10%~-10%)	2.0	~ 2.1	資産(-10%~+10%)	1.9	~ 2.3
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	1.9	~ 2.2																				
残工期(+10%~-10%)	2.0	~ 2.1																				
資産(-10%~+10%)	1.9	~ 2.3																				
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、計画規模の豪雨による土石流等について人家123戸や国道472号等への被害が軽減される。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成31年2月に事業評価を実施しており、その後の社会情勢の変化はない																					

# 野積川事業間連携砂防等事業 位置図



砂防堰堤、溪流保全工



<新規事業採択時評価>

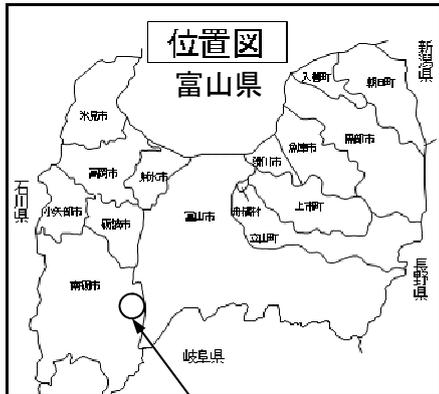
事業名 (箇所名)	百瀬川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部砂 今井 一之		事業 主体	富山県															
実施箇所	富山県南砺市利賀村上百瀬																					
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成39年度																		
総事業費 (億円)	6.5																					
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本箇所の下流域には、人家54戸、国道3500m、県道3800m、市道1800m、橋梁10基、耕地23.5ha、要配慮利用者施設、避難所(3箇所)、避難場所(1箇所)など、川沿いに人家や施設があり、土砂災害が発生した場合、被害が甚大となる。</li> <li>・当該流域では、土砂流出による河床上昇で、河川の氾濫、浸水被害、国道の通行止めが平成11年に発生しており、新たな土砂の流出により、今後の豪雨で同様の被害が危惧される。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・流下する恐れのある不安定土砂を捕捉するための砂防堰堤を新設し、下流の人家、県道等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠 等	保全対象 人家:54戸、県道229号、国道471号、災害時要援護者関連施設、百瀬川コミュニティセンター(避難所)、利賀中村体育館(避難所)																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成30年度																			
	B:総便益 (億円)	14	C:総費用(億円)	5.6	B/C	2.5	B-C	8.5	EIRR (%)	20.3%												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.5</td> <td>~ 2.5</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.2</td> <td>~ 2.7</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.3</td> <td>~ 2.8</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.5	~ 2.5	残工期(+10%~-10%)	2.2	~ 2.7	資産(-10%~+10%)	2.3	~ 2.8
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	2.5	~ 2.5																				
残工期(+10%~-10%)	2.2	~ 2.7																				
資産(-10%~+10%)	2.3	~ 2.8																				
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、計画規模の豪雨による土石流等について人家54戸や国道471号等への被害が軽減される。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成31年2月に事業評価を実施しており、その後の社会情勢の変化はない																					



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	谷内谷事業間連携砂防等事業		担当課	水管理・国土保全局砂防部砂防計画課		事業主体	富山県															
			担当課長名	今井 一之																		
実施箇所	富山県南砺市利賀村上百瀬																					
主な事業の 語元	主要施設: 堆積工、溪流保全工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度																		
総事業費 (億円)	1.2																					
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>神通川水系谷内谷は、富山県南砺市の南東部に位置する土石流危険溪流Ⅰであり、溪流の下流部には一般県道上百瀬島地線(県道229号)と公民館や民家及び民宿が存在し、末端は1級河川神通川水系百瀬川となっている。</li> <li>事業区域では、平成29年1月に2度の山腹崩壊が発生しており、人家や県道上百瀬島地線等が土石流による甚大な被害が生じた。</li> <li>流出した5万m3を超える大量の土砂が渓床部に堆積している状況にあり、豪雨時や融雪時に再滑動した場合、さらなる人家への被害拡大及び県道への被害の恐れがある。</li> </ul>																					
	<p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>上百瀬地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土石流等による県道上百瀬島地線等への被害を軽減する。</li> </ul>																					
	<p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主な根拠	保全対象 人家: 5戸、県道229号 等																					
事業全体の投資効率性	基準年度		平成28年度																			
	B:総便益(億円)	24	C:総費用(億円)	21	B/C	1.2	B-C	3.6	EIRR(%)	5.0%												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>1.2</td> <td>~ 1.2</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>1.2</td> <td>~ 1.2</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>1.1</td> <td>~ 1.3</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	1.2	~ 1.2	残工期(+10%~-10%)	1.2	~ 1.2	資産(-10%~+10%)	1.1	~ 1.3
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	1.2	~ 1.2																				
残工期(+10%~-10%)	1.2	~ 1.2																				
資産(-10%~+10%)	1.1	~ 1.3																				
事業の効果等	当該事業を実施することにより、計画規模の豪雨による土石流等について人家5戸や県道229号等への被害が軽減される。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成31年2月に事業評価を実施しており、その後の社会情勢の変化はない																					

# 谷内谷事業間連携砂防等事業 位置図



じんづうがわ やちだに  
神通川水系谷内谷

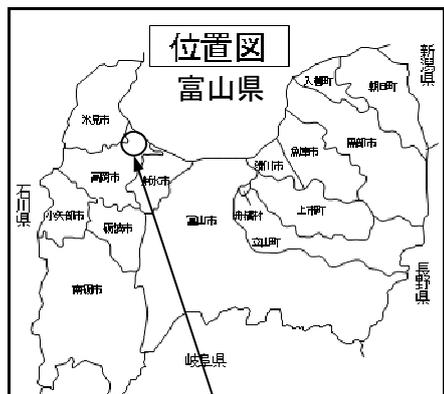
堆積工、溪流保全工



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	二上(3)事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部砂 防計画課 今井 一之	事業 主体	富山県																					
実施箇所	富山県高岡市二上																										
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤																										
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度																							
総事業費 (億円)	1.0																										
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・砂防設備が十分に整備されていないことから、土砂氾濫時には下流の県道小矢部伏木港線(第3次緊急通行確保路線)や人家34戸に被害が生じる恐れがある。</li> <li>・当該溪流は土石流危険溪流であり、平均渓床勾配が約1/2.4と急流であるほか、流域内には流木や不安定な土砂が多量に堆積しているため、豪雨時には下流域に甚大な被害を生じる恐れがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二上地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土石流等による県道小矢部伏木港線等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																										
便益の主 な根拠	保全対象: 人家34戸、第3次緊急通行確保路線(県道小矢部伏木港線)、市・農道634m、その他の道路154m 等																										
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成29年度																									
	B:総便益 (億円)	27	C:総費用(億円)	1.1	B/C	23.7	B-C	26	EIRR (%)	54.6%																	
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td></td> <td>21</td> <td>~ 26</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td></td> <td>23</td> <td>~ 24</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td></td> <td>23</td> <td>~ 25</td> </tr> </tbody> </table>													全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)		21	~ 26	残工期(+10%~-10%)		23	~ 24	資産(-10%~+10%)		23	~ 25
		全体事業(B/C)																									
残事業費(+10%~-10%)		21	~ 26																								
残工期(+10%~-10%)		23	~ 24																								
資産(-10%~+10%)		23	~ 25																								
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、計画規模の豪雨による土石流等について人家34戸や県道小矢部伏木港線等への被害が軽減される。																										
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成31年2月に事業評価を実施しており、その後の社会情勢の変化はない																										

## 二上(3)事業間連携砂防等事業 位置図



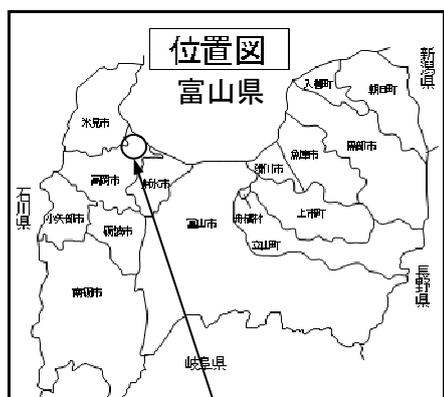
おやべがわ ふたがみ  
小矢部川水系二上(3)



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	二上(2)事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部砂 防計画課 今井 一之	事業 主体	富山県																
実施箇所	富山県高岡市二上																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成37年度																		
総事業費 (億円)	1.2																					
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・砂防設備が十分に整備されていないことから、土砂氾濫時には下流の県道小矢部伏木港線(第3次緊急通行確保路線)や人家18戸に被害が生じる恐れがある。</li> <li>・当該溪流は土石流危険溪流であり、平均渓床勾配が約1/2と急流であるほか、流域内には流木や不安定な土砂が多量に堆積しているため、豪雨時には下流域に甚大な被害を生じる恐れがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二上地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土石流等による県道小矢部伏木港線等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	保全対象: 人家18戸、第3次緊急通行確保路線(県道小矢部伏木港線)、市道274m、農道その他の道路162m 等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	14	C:総費用(億円)	1.4	B/C	10.3	B-C	13	EIRR (%)	27.2%												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>9.4</td> <td>~ 11</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>10</td> <td>~ 10</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>9.3</td> <td>~ 11</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	9.4	~ 11	残工期(+10%~-10%)	10	~ 10	資産(-10%~+10%)	9.3	~ 11
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	9.4	~ 11																				
残工期(+10%~-10%)	10	~ 10																				
資産(-10%~+10%)	9.3	~ 11																				
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、計画規模の豪雨による土石流等について人家18戸や県道小矢部伏木港線等への被害が軽減される。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成31年2月に事業評価を実施しており、その後の社会情勢の変化はない																					

## 二上(2)事業間連携砂防等事業 位置図



おやべがわ ふたがみ  
小矢部川水系二上(2)



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	山川事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部砂 防計画課 今井 一之	事業 主体	富山県												
実施箇所	富山県高岡市西広谷																
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成36年度													
総事業費 (億円)	1																
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下流域には、地域防災計画で位置づけられている避難箇所の旧西広谷小学校や、県道高岡羽咋線、地区浄化施設等の公共施設がある。</li> <li>・当該溪流は土石流危険溪流であり、平均渓床勾配が約1/7.9と急流であるほか、流域内には流木や不安定な土砂が多量に堆積しているため、豪雨時には下流域に甚大な被害を生じる恐れがある。</li> <li>・砂防設備が十分に整備されていないことから、土砂氾濫時には下流での被害が生じる恐れがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西広谷地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土石流等による県道高岡羽咋線等への被害を軽減する</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																
便益の主 な根拠	保全対象: 人家2戸、避難箇所(旧西広谷小学校)、地区浄化施設、県道高岡羽咋線																
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成29年度															
	B:総便益 (億円)	8.2	C:総費用(億円)	1.1	B/C 7.6 B-C 7 EIRR (%) 39.3%												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>6.9</td> <td>~ 8.5</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>7.6</td> <td>~ 7.6</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>6.9</td> <td>~ 8.4</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	6.9	~ 8.5	残工期(+10%~-10%)	7.6	~ 7.6	資産(-10%~+10%)	6.9	~ 8.4
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	6.9	~ 8.5															
残工期(+10%~-10%)	7.6	~ 7.6															
資産(-10%~+10%)	6.9	~ 8.4															
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、計画規模の豪雨による土石流等について人家2戸や県道高岡羽咋線等への被害が軽減される。																
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成31年2月に事業評価を実施しており、その後の社会情勢の変化はない																



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	打尾川事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部砂 防計画課 今井 一之	事業 主体	富山県												
実施箇所	富山県南砺市樋瀬戸																
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度													
総事業費 (億円)	1.0																
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域では、平成20年7月に土砂災害が発生しており、平行している県道臼中福光線等が土石流による甚大な被害が生じた。</li> <li>・また、河床に大量の土砂が堆積しているほか荒廃も進行しており、豪雨が発生した際には、これらの溪床堆積物が土石流となり、流出する可能性がある。</li> <li>・当該溪流の下流には、樋瀬戸の集落及び旧福光町市街等があり、多数の人家や道路などに被害が生じる恐れがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・樋瀬戸地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土石流等による県道臼中福光線等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																
便益の主 な根拠	人家21戸、県道臼中福光線、市道700m、公民館1棟 等																
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度															
	B:総便益 (億円)	9.1	C:総費用(億円)	3.3	B/C 2.7 B-C 5.8 EIRR (%) 22.4%												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.7</td> <td>~ 2.8</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.6</td> <td>~ 3.0</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.5</td> <td>~ 3.3</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.7	~ 2.8	残工期(+10%~-10%)	2.6	~ 3.0	資産(-10%~+10%)	2.5	~ 3.3
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	2.7	~ 2.8															
残工期(+10%~-10%)	2.6	~ 3.0															
資産(-10%~+10%)	2.5	~ 3.3															
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、計画規模の豪雨による土石流等について人家21戸や県道臼中福光線等への被害が軽減される。																
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成31年2月に事業評価を実施しており、その後の社会情勢の変化はない																



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	池川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部砂防計画課 今井 一之		事業 主体	富山県															
実施箇所	富山県南砺市城端																					
主な事業 の諸元	主要施設: 溪流保全工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度																		
総事業費 (億円)	11.0																					
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成20年7月の集中豪雨により土砂洪水が発生し、下流域の人家で床上床下浸水、数力所に及ぶ護岸欠損、耕地への土砂流入を引き起こし、幹川の山田川に流れ込んだ。</li> <li>今後の豪雨による土砂災害の発生で、再び市街地に被害が及ぶ恐れがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>流下する恐れのある不安定土砂を捕捉するための対策施設の整備を行い、主要地方道井波城端線などへの被害を軽減させる。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	人家51戸、県道井波・城端線、市道721m、県道橋1橋 等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成30年度																			
	B:総便益 (億円)	60	C:総費用(億円)	26	B/C	2.3	B-C	34	EIRR (%)	17.7%												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.2</td> <td>~ 2.4</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.2</td> <td>~ 2.3</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.0</td> <td>~ 2.5</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.2	~ 2.4	残工期(+10%~-10%)	2.2	~ 2.3	資産(-10%~+10%)	2.0	~ 2.5
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	2.2	~ 2.4																				
残工期(+10%~-10%)	2.2	~ 2.3																				
資産(-10%~+10%)	2.0	~ 2.5																				
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、計画規模の豪雨による土石流等について人家51戸や県道井波・城端線等への被害が軽減される。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成31年2月に事業評価を実施しており、その後の社会情勢の変化はない																					



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	太美谷事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部砂 今井 一之		事業 主体	富山県															
実施箇所	富山県南砺市太美																					
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤、堆積工、溪岸保全工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度																		
総事業費 (億円)	2.8																					
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本溪流は、平均河床勾配が約1/7と急流である。溪流は荒廃が進んでおり、豪雨により土石流が発生すると、下流の人家3戸や県道のほか、重要インフラである発電施設に甚大な被害を及ぼす恐れがある。</li> <li>・以上のことなどから、地域住民の生命と生活を土砂災害から守るとともに国土を保全するため、砂防事業を実施する必要がある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による県道、人家、発電所等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主な 根拠	人家3戸、県道金沢湯涌福光線、市道338m、発電所 等																					
事業全体の 投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	15	C:総費用(億円)	4.3	B/C	3.4	B-C	10	EIRR (%)	11.9%												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>3.1</td> <td>~ 3.7</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>3.3</td> <td>~ 3.4</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>3.0</td> <td>~ 3.6</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	3.1	~ 3.7	残工期(+10%~-10%)	3.3	~ 3.4	資産(-10%~+10%)	3.0	~ 3.6
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	3.1	~ 3.7																				
残工期(+10%~-10%)	3.3	~ 3.4																				
資産(-10%~+10%)	3.0	~ 3.6																				
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、計画規模の豪雨による土石流等について人家3戸や県道金沢湯涌福光線等への被害が軽減される。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成31年2月に事業評価を実施しており、その後の社会情勢の変化はない																					



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	後谷(2)事業間連携砂防等事業		担当課	水管理・国土保全局砂防部砂防計画課		事業 主体	富山県															
			担当課長名	今井 一之																		
実施箇所	富山県小矢部市後谷																					
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度																		
総事業費 (億円)	1.9																					
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当箇所は、土石流危険渓流であり、平均渓床勾配が約1/4と急流であり、流域内には倒木や不安定な土砂が多量に堆積している。</li> <li>・この下流域には小矢部市後谷集落があり、豪雨により土石流が発生すると、下流の人家や国道471号(第1次緊急通行確保路線)、あいの風とやま鉄道、北陸新幹線等に甚大な被害を及ぼす恐れがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <p>土石流及び流木の発生する可能性が高い渓流において集中的な対策施設の整備を行い、集落等への直接的な被害・防止を軽減するとともに、下流域への流出土砂量を低減し、土砂・洪水氾濫による国道471号等の被害を軽減する。</p> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	想定氾濫面積:3.9ha 人家:10戸 国道471号 農道等:380m あいの風とやま鉄道:230m 北陸新幹線:150m等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成30年度																			
	B:総便益 (億円)	8.7	C:総費用(億円)	2.2	B/C	4.0	B-C	6.5	EIRR (%)	19.4%												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>3.7</td> <td>~ 4.3</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>4.0</td> <td>~ 4.0</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>3.8</td> <td>~ 4.2</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	3.7	~ 4.3	残工期(+10%~-10%)	4.0	~ 4.0	資産(-10%~+10%)	3.8	~ 4.2
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	3.7	~ 4.3																				
残工期(+10%~-10%)	4.0	~ 4.0																				
資産(-10%~+10%)	3.8	~ 4.2																				
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、計画規模の豪雨による土石流等について人家10戸や国道471号等への被害が軽減される。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成31年2月に事業評価を実施しており、その後の社会情勢の変化はない																					



<新規事業採択時評価>

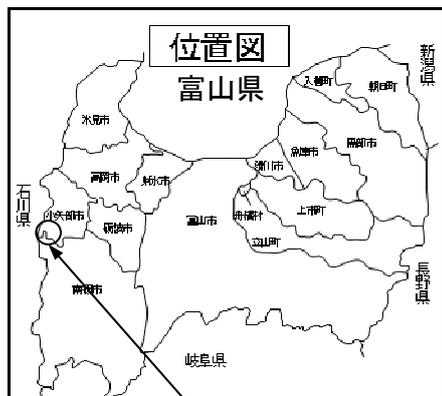
事業名 (箇所名)	田川谷内川(2)事業間連携砂防等事業		担当課	水管理・国土保全局砂防部砂防計画課			事業 主体	富山県														
			担当課長名	今井 一之																		
実施箇所	富山県小矢部市田川																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度																		
総事業費 (億円)	2.1																					
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当箇所は、土石流危険渓流であり、平均渓床勾配が約1/4と急流であり、流域内には倒木や不安定な土砂が多量に堆積している。</li> <li>・この下流域には小矢部市田川集落があり、豪雨により土石流が発生すると、下流の人家や県道小矢部伏木港線(第3次緊急通行確保路線)に甚大な被害を及ぼす恐れがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <p>土石流及び流木の発生する可能性が高い渓流において集中的な対策施設の整備を行い、集落等への直接的な被害・防止を軽減するとともに、下流域への流出土砂量を低減し、土砂・洪水氾濫による県道小矢部伏木港線等の被害を軽減する。</p> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	想定氾濫面積: 4.3ha 人家: 11戸 県道小矢部伏木港線 市道: 38m等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成30年度																			
	B:総便益 (億円)	9.9	C:総費用(億円)	2.3	B/C	4.3	B-C	7.6	EIRR (%)	21.7%												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>4.0</td> <td>~ 4.7</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>4.3</td> <td>~ 4.3</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>4.1</td> <td>~ 4.6</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	4.0	~ 4.7	残工期(+10%~-10%)	4.3	~ 4.3	資産(-10%~+10%)	4.1	~ 4.6
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	4.0	~ 4.7																				
残工期(+10%~-10%)	4.3	~ 4.3																				
資産(-10%~+10%)	4.1	~ 4.6																				
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、計画規模の豪雨による土石流等について人家11戸や県道小矢部伏木港線等への被害が軽減される。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成31年2月に事業評価を実施しており、その後の社会情勢の変化はない																					



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	内山事業間連携砂防等事業	担当課	水管理・国土保全局砂防部砂防計画課	事業主体	富山県
		担当課長名	今井 一之		
実施箇所	富山県小矢部市内山				
主な事業の諸元	主要施設: 砂防堰堤				
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成36年度	
総事業費 (億円)	1.2				
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当箇所は、土石流危険渓流であり、流域内に流木や不安定土砂が大量に堆積している。</li> <li>・豪雨により土石流が発生すると下流の人家1戸、高速道路等に甚大な被害を及ぼす恐れがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土石流及び流木の発生する可能性が高い渓流において集中的な対策施設の整備を行い、集落等への直接的な被害・防止を軽減するとともに、下流域への流出土砂量を低減し、土砂・洪水氾濫による北陸自動車道等の被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>				
便益の主な根拠	想定氾濫面積3.94ha、人家1戸、高速道路 北陸道、市道150m、農道20m 等				
事業全体の投資効率性	基準年度	平成30年度			
	B:総便益 (億円)	1.9	C:総費用(億円)	1.2	B/C 1.5 B-C 0.6 EIRR (%) 6.9%
感度分析	全体事業(B/C)				
	残事業費(+10%~-10%)	1.4	~	1.7	
	残工期(+10%~-10%)	1.5	~	1.5	
	資産(-10%~+10%)	1.4	~	1.7	
事業の効果等	当該事業を実施することにより、計画規模の豪雨による土石流等について人家1戸や北陸自動車道等への被害が軽減される。				
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成31年2月に事業評価を実施しており、その後の社会情勢の変化はない				

# 内山事業間連携砂防等事業 位置図



おやべがわ うちやま  
小矢部川水系内山



<新規事業採択時評価>

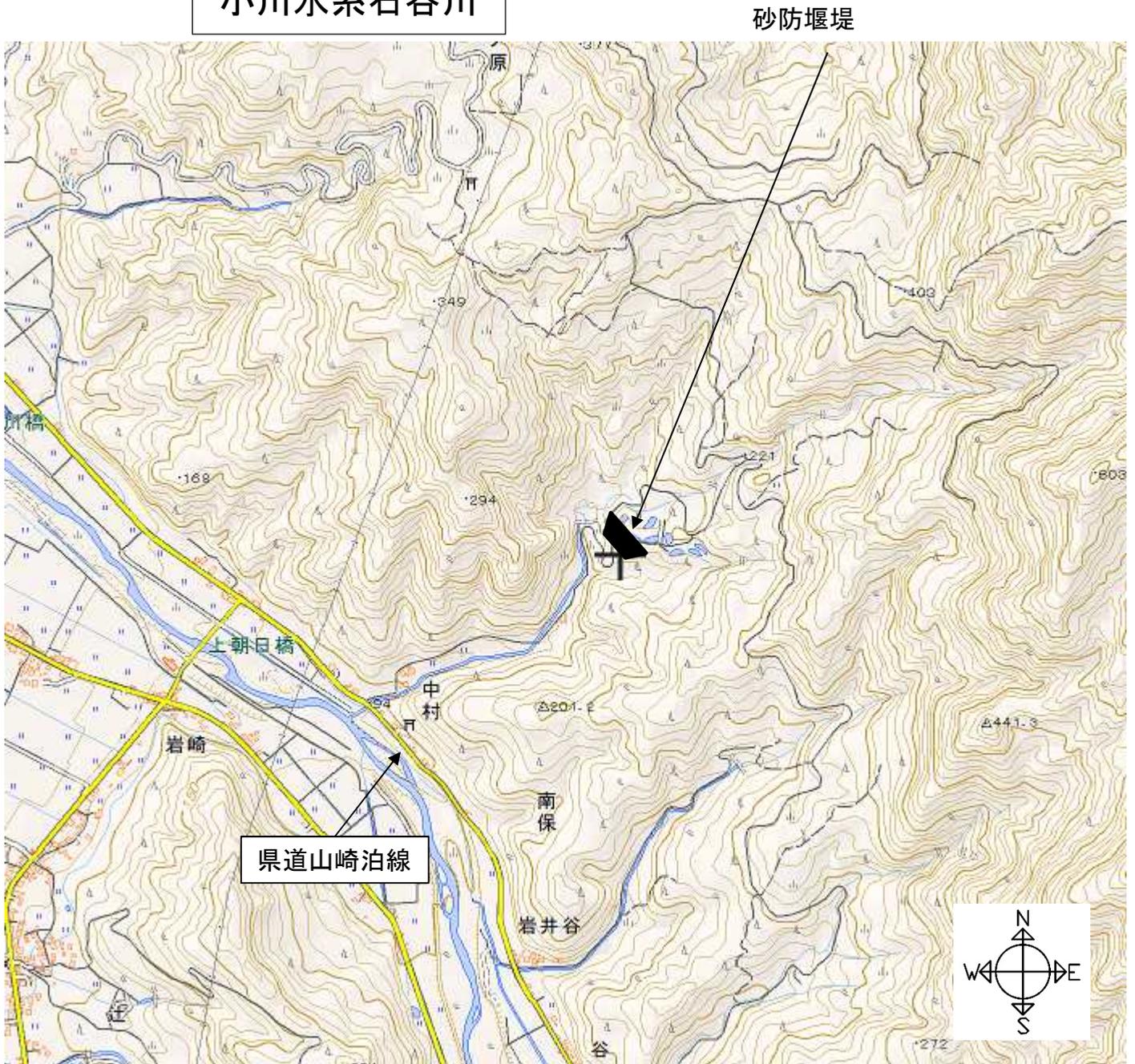
事業名 (箇所名)	下横尾谷事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部砂防計画課 今井 一之		事業 主体	富山県															
実施箇所	富山県下新川郡朝日町横尾																					
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度																		
総事業費 (億円)	2.2																					
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・砂防設備が整備されていないことから、土砂氾濫時には下流域での被害が生じる恐れが高い。</li> <li>・当箇所は、土石流危険渓流であり、平均渓床勾配が1/4と急流である。</li> <li>・集中豪雨による土石流が発生する危険性が高く、下流の人家、国道、鉄道、公民館等に甚大な被害を及ぼす恐れが高い。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <p>砂防堰堤を整備し、当該地域において降雨が発生した際に、土石流及び流木の発生する可能性が高い渓流において集中的な対策施設の整備を行い、集落等への直接的な被害・防止を軽減するとともに、下流河川に流出土砂量を低減し、土砂・洪水氾濫による国道8号等への被害を軽減する。</p> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	保全対象:人家22戸、国道8号、町道236m、鉄道310m、公民館1棟																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	17	C:総費用(億円)	2.2	B/C	7.9	B-C	15	EIRR (%)	44.3%												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>7.1</td> <td>~ 8.8</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>7.8</td> <td>~ 7.9</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>7.1</td> <td>~ 8.7</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	7.1	~ 8.8	残工期(+10%~-10%)	7.8	~ 7.9	資産(-10%~+10%)	7.1	~ 8.7
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	7.1	~ 8.8																				
残工期(+10%~-10%)	7.8	~ 7.9																				
資産(-10%~+10%)	7.1	~ 8.7																				
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、計画規模の豪雨による土石流等について人家22戸や国道8号等への被害が軽減される。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成31年2月に事業評価を実施しており、その後の社会情勢の変化はない																					



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	石谷川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部砂 防計画課 今井 一之	事業 主体	富山県																
実施箇所	富山県下新川郡朝日町南保																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度																		
総事業費 (億円)	1.2																					
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当箇所は、土石流危険渓流であり、平均渓床勾配が約8度と急流である。</li> <li>・事業区域では、表層崩壊が発生し、渓床部には不安定土砂や流木が堆積しており、豪雨により土石流が発生すると、下流の人家や道路などの公共施設に甚大な被害を及ぼす恐れがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;・・・地整対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南保地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土石流等による県道山崎泊線等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;・・・本省対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	保全対象: 人家4戸、県道山崎泊線、県道橋1基 等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	4.5	C:総費用(億円)	3.2	B/C	1.4	B-C	1.3	EIRR (%)	6.0												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>1.3</td> <td>~ 1.5</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>1.4</td> <td>~ 1.4</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>1.4</td> <td>~ 1.5</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	1.3	~ 1.5	残工期(+10%~-10%)	1.4	~ 1.4	資産(-10%~+10%)	1.4	~ 1.5
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	1.3	~ 1.5																				
残工期(+10%~-10%)	1.4	~ 1.4																				
資産(-10%~+10%)	1.4	~ 1.5																				
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、計画規模の豪雨による土石流等について人家4戸や県道山崎泊線等への被害が軽減される。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成31年2月に事業評価を実施しており、その後の社会情勢の変化はない																					

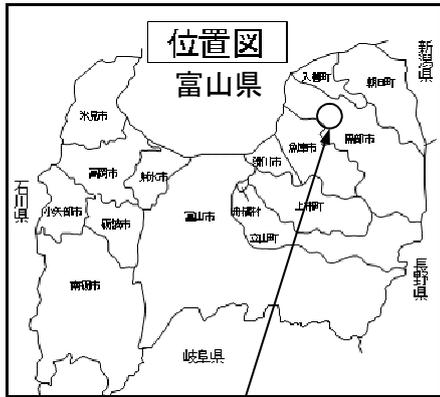
# 石谷川事業間連携砂防等事業 位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	内生谷西沢事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部砂 防計画課 今井 一之	事業 主体	富山県					
実施箇所	富山県黒部市内生谷									
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度						
総事業費 (億円)	2.0									
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当箇所は、土石流危険渓流であり、平均渓床勾配が約8度と急流である。</li> <li>・事業区域では、表層崩壊が発生し、渓床部には不安定土砂や流木が堆積しており、豪雨により土石流が発生すると、下流の人家や道路、公民館などの公共施設に甚大な被害を及ぼす恐れがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内生谷地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土石流等による人家、県道等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>									
便益の主 な根拠	保全対象: 人家38戸、県道福平石田線、県道橋1基 等									
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度								
	B:総便益 (億円)	35	C:総費用(億円)	2.2	B/C	15.9	B-C	32	EIRR (%)	96.5
感度分析	全体事業(B/C)									
	残事業費(+10%~-10%)	15	~	17						
	残工期(+10%~-10%)	16	~	16						
	資産(-10%~+10%)	15	~	16						
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、計画規模の豪雨による土石流等について人家38戸や県道福平石田線等への被害が軽減される。									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成31年2月に事業評価を実施しており、その後の社会情勢の変化はない									

# 内生谷西沢事業間連携砂防等事業 位置図



かたかがわ うちゅうだににしざわ  
片貝川水系内生谷西沢



<新規事業採択時評価>

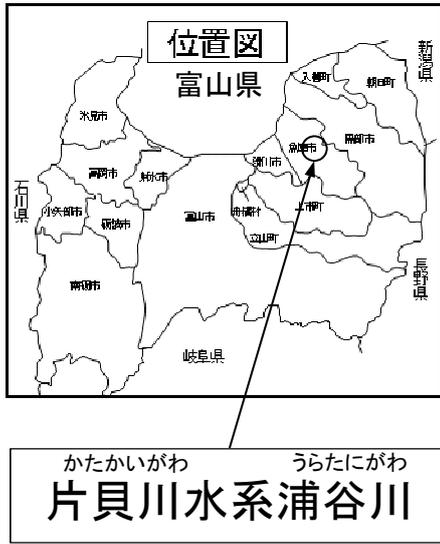
事業名 (箇所名)	寺谷敷谷川事業間連携砂防等事業		担当課	水管理・国土保全局砂防部砂防計画課			事業 主体	富山県														
			担当課長名	今井 一之																		
実施箇所	富山県黒部市尾山																					
主な事業 の語元	主要施設:砂防堰堤																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度																		
総事業費 (億円)	2.3																					
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当箇所は、土石流危険渓流であり、平均渓床勾配が約14度と急流である。</li> <li>・事業区域では、表層崩壊が発生し、渓床部には不安定土砂や流木が堆積しており、豪雨により土石流が発生すると、下流の人家や道路、避難所などの公共施設に甚大な被害を及ぼす恐れがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・尾山地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土石流等による人家・県道等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主な 根拠	保全対象: 人家10戸、県道福平石田線、市道191m、避難所(体育館)1棟 等																					
事業全体の 投資効 率性	基準年度		平成30年度																			
	B:総便益 (億円)	12	C:総費用(億円)	2.2	B/C	5.3	B-C	9.6	EIRR (%)	26.7												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>4.6</td> <td>~ 5.6</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>5.0</td> <td>~ 7.2</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>4.8</td> <td>~ 5.3</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	4.6	~ 5.6	残工期(+10%~-10%)	5.0	~ 7.2	資産(-10%~+10%)	4.8	~ 5.3
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	4.6	~ 5.6																				
残工期(+10%~-10%)	5.0	~ 7.2																				
資産(-10%~+10%)	4.8	~ 5.3																				
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、計画規模の豪雨による土石流等について人家10戸や県道福平石田線等への被害が軽減される。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成31年2月に事業評価を実施しており、その後の社会情勢の変化はない																					



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	浦谷川事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部砂 防計画課 今井 一之	事業 主体	富山県					
実施箇所	富山県魚津市蛇田									
主な事業 の諸元	主要施設: 溪流保全工									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成33年度						
総事業費 (億円)	1.3									
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当箇所は、土石流危険溪流であり、平均渓床勾配が約10度と急流である。</li> <li>・事業区域では、平成26年7月に法面崩壊から土砂が流出し、宅地敷地内まで土石流が流入するなど土石流による甚大な被害が生じており、豪雨により土石流が発生すると、下流の人家や道路などの公共施設に甚大な被害を及ぼす恐れがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浦谷川において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による人家、県道等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>									
便益の主 な根拠	保全対象: 人家23戸、県道福平経田線(緊急避難路)、市道182m、農道243m 等									
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度								
	B:総便益 (億円)	13	C:総費用(億円)	1.4	B/C	9.5	B-C	11.6	EIRR (%)	55.6
感度分析	全体事業(B/C)									
	残事業費(+10%~-10%)	8.6	~	11						
	残工期(+10%~-10%)	9.5	~	9.5						
	資産(-10%~+10%)	8.5	~	10						
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、計画規模の豪雨による土石流等について人家23戸や県道福平石田線等への被害が軽減される。									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成31年2月に事業評価を実施しており、その後の社会情勢の変化はない									

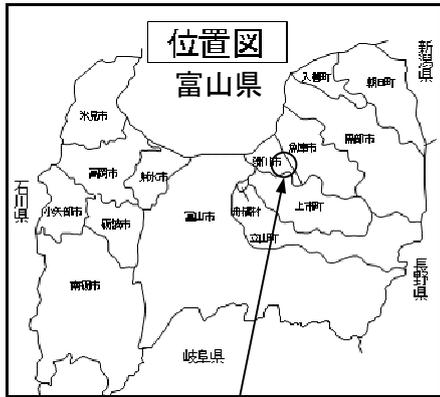
# 浦谷川事業間連携砂防等事業 位置図



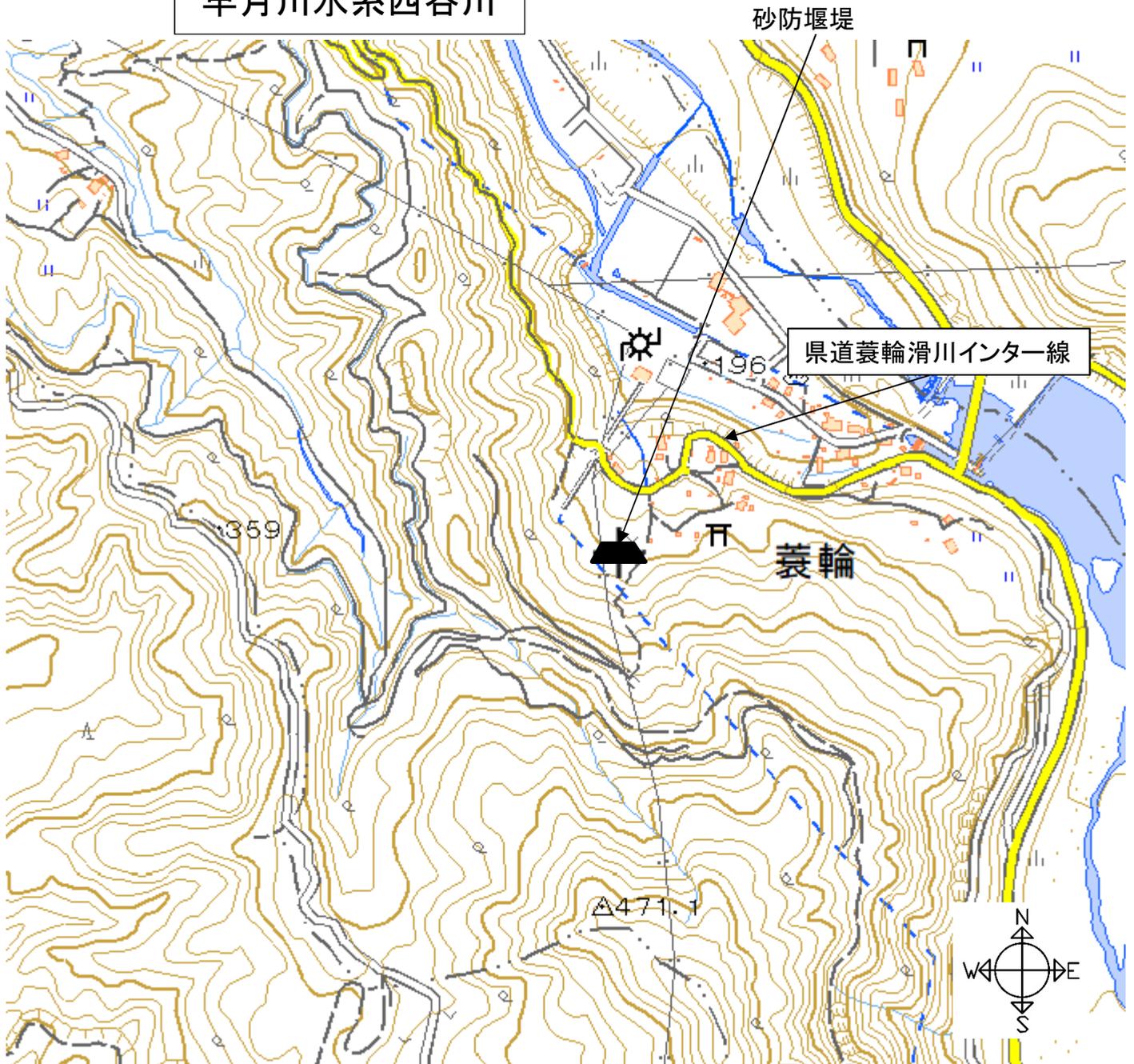
<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	西谷川事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部砂 防計画課 今井 一之	事業 主体	富山県												
実施箇所	富山県滑川市菟輪																
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度													
総事業費 (億円)	0.6																
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当箇所は、土石流危険渓流であり、平均渓床勾配が約14度と急流である。</li> <li>・事業区域では、H14年8月には山腹崩壊から土砂が流出し、上水道施設が土石流による埋没等の甚大な被害が生じており、豪雨により土石流が発生すると、下流の人家や道路、上水道施設、指定避難所、指定緊急避難場所などの公共施設に甚大な被害を及ぼす恐れがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西谷川において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による人家、県道等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																
便益の主 な根拠	保全対象: 人家3戸、指定避難場所1件、指定避難所1戸、県道菟輪滑川インター線、市道380m、上水道施設 等																
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度															
	B:総便益 (億円)	8.5	C:総費用(億円)	3.4	B/C 2.5 B-C 5.1 EIRR (%) 9.5												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.1</td> <td>~ 3.0</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.5</td> <td>~ 2.5</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.2</td> <td>~ 2.7</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.1	~ 3.0	残工期(+10%~-10%)	2.5	~ 2.5	資産(-10%~+10%)	2.2	~ 2.7
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	2.1	~ 3.0															
残工期(+10%~-10%)	2.5	~ 2.5															
資産(-10%~+10%)	2.2	~ 2.7															
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、計画規模の豪雨による土石流等について人家3戸や県道菟輪滑川インター線等への被害が軽減される。																
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成31年2月に事業評価を実施しており、その後の社会情勢の変化はない																

# 西谷川事業間連携砂防等事業 位置図



はやつきがわ にしたにがわ  
早月川水系西谷川



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	片地事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部砂 今井 一之		事業 主体	富山県															
実施箇所	富山県中新川郡上市町片地																					
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度																		
総事業費 (億円)	0.5																					
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当箇所は、土石流危険渓流であり、平均渓床勾配が約8度と急流である。</li> <li>・事業区域では、表層崩壊が発生し、渓床部には不安定土砂や流木が堆積しており、豪雨により土石流が発生すると、下流の人家や道路、上水道配水施設、公民館などの公共施設に甚大な被害を及ぼす恐れがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・片地地区において降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による人家、県道等への被害を軽減する。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主な 根拠	保全対象:人家5戸、町上水道配水施設、公民館、県道極楽寺郷柿沢線、町道505m 等																					
事業全体の 投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	3.1	C:総費用(億円)	2.0	B/C	1.5	B-C	1.1	EIRR (%)	6.5												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>1.3</td> <td>~ 1.8</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>1.5</td> <td>~ 1.6</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>1.5</td> <td>~ 1.6</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	1.3	~ 1.8	残工期(+10%~-10%)	1.5	~ 1.6	資産(-10%~+10%)	1.5	~ 1.6
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	1.3	~ 1.8																				
残工期(+10%~-10%)	1.5	~ 1.6																				
資産(-10%~+10%)	1.5	~ 1.6																				
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、計画規模の豪雨による土石流等について人家5戸や県道極楽寺郷柿沢線等への被害が軽減される。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成31年2月に事業評価を実施しており、その後の社会情勢の変化はない																					



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	上坂谷事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部砂 今井 一之	事業 主体	富山県					
実施箇所	富山県中新川郡上市町湯上野									
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度						
総事業費 (億円)	0.7									
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・砂防設備が整備されていないことから、土砂氾濫時には下流での被害が生じる恐れがある。</li> <li>・下流域には人家7戸、県道極楽寺湯神子線や、体育館などの公共施設があり、豪雨により土石流が発生すると甚大な被害を及ぼす恐れがある。</li> <li>・当箇所は、土石流危険渓流であり、平均渓床勾配が約1/7と急流である。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <p>降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による県道、人家等への被害を軽減する。</p> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>									
便益の主 な根拠	保全対象:人家7戸、町営体育館、高校農場施設、県道極楽寺湯神子線、町道760m 等									
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度								
	B:総便益 (億円)	6.9	C:総費用(億円)	2.0	B/C	3.4	B-C	4.8	EIRR (%)	11.7%
感度分析	全体事業(B/C)									
	残事業費(+10%~-10%)	3.3	~	3.5						
	残工期(+10%~-10%)	3.4	~	3.4						
	資産(-10%~+10%)	3.1	~	3.7						
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、計画規模の豪雨による土石流等について人家7戸や県道極楽寺湯神子線等への被害が軽減される。									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成31年2月に事業評価を実施しており、その後の社会情勢の変化はない									

# 上坂谷事業間連携砂防等事業 位置図



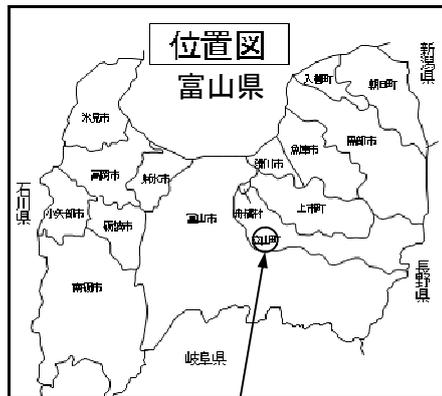
かみいちがわ うえさかだに  
上市川水系上坂谷



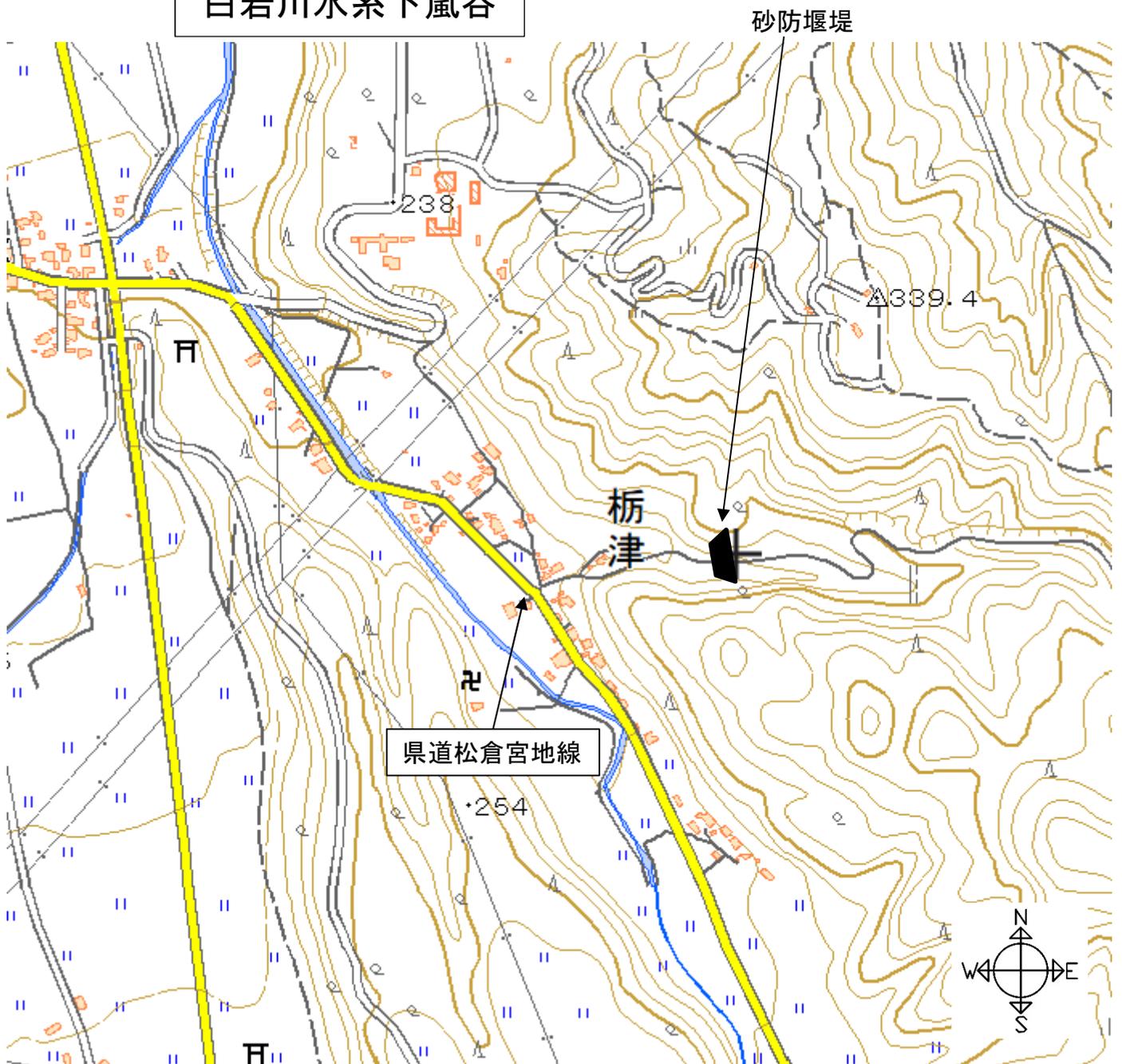
<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	下嵐谷事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部砂 今井 一之	事業 主体	富山県					
実施箇所	富山県中新川郡立山町柝津									
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成37年度						
総事業費 (億円)	3.5									
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当箇所は、土石流危険渓流であり、平均渓床勾配が1/2.1~1/16.7と急流である。</li> <li>・流域内では表層崩壊が発生し、溪流の広範囲で溪岸浸食が生じている。</li> <li>・砂防設備が整備されていないことから、豪雨により土石流が発生すると、下流の人家や県道松倉・宮地線、老人ホームなどの公共施設に甚大な被害を及ぼす恐れがある</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <p>降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による県道、人家、老人ホーム等への被害を軽減する</p> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>									
便益の主 な根拠	保全対象:人家4戸、老人ホーム1戸、県道松倉宮路線、町道210m、その他道路803m 等									
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度								
	B:総便益 (億円)	4.6	C:総費用(億円)	3.3	B/C	1.4	B-C	1.4	EIRR (%)	6.5%
感度分析	全体事業(B/C)									
	残事業費(+10%~-10%)	1.3	~	1.6						
	残工期(+10%~-10%)	1.4	~	1.4						
	資産(-10%~+10%)	1.3	~	1.6						
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、計画規模の豪雨による土石流等について人家4戸や県道松倉宮路線等への被害が軽減される。									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成31年2月に事業評価を実施しており、その後の社会情勢の変化はない									

# 下嵐谷事業間連携砂防等事業 位置図



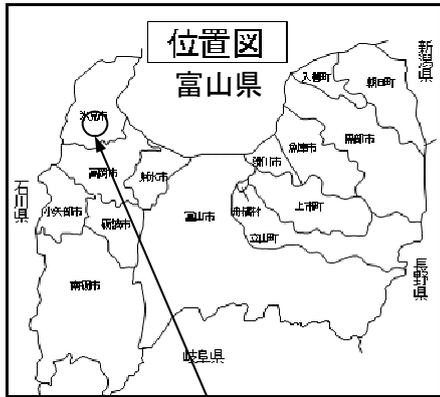
しらわがわ くだらしたに  
白岩川水系下嵐谷



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	石戸前谷事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部砂 防計画課 今井 一之	事業 主体	富山県												
実施箇所	富山県氷見市柿谷																
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度													
総事業費 (億円)	1.9																
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本流域は土石流危険渓流であり、渓床には不安定土砂が堆積し、また渓岸浸食が著しく、土砂災害が発生しやすい状態となっている。</li> <li>・本箇所の下流域には氷見市柿谷集落があり、豪雨により土石流が発生した場合、直下の人家25戸及び避難路である県道柿谷池田線等に甚大な被害を及ぼす恐れがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <p>降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による県道、人家への被害を軽減する。</p> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																
便益の主 な根拠	保全対象: 人家25戸、避難路(県道柿谷池田線)																
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度															
	B:総便益 (億円)	13	C:総費用(億円)	3.6	B/C 3.7 B-C 10 EIRR (%) 12.9%												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>3.6</td> <td>~ 3.9</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>3.8</td> <td>~ 3.8</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>3.4</td> <td>~ 4.1</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	3.6	~ 3.9	残工期(+10%~-10%)	3.8	~ 3.8	資産(-10%~+10%)	3.4	~ 4.1
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	3.6	~ 3.9															
残工期(+10%~-10%)	3.8	~ 3.8															
資産(-10%~+10%)	3.4	~ 4.1															
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、計画規模の豪雨による土石流等について人家25戸や県道柿谷池田線等への被害が軽減される。																
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成31年2月に事業評価を実施しており、その後の社会情勢の変化はない																

# 石戸前谷事業間連携砂防等事業 位置図



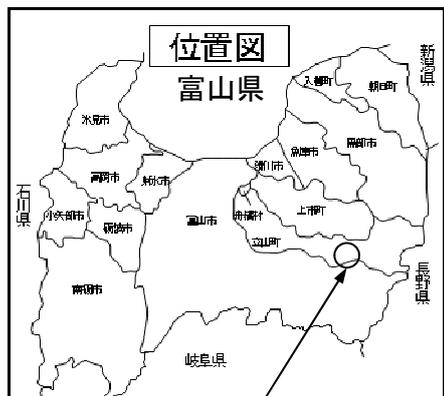
かみしょうがわ いしどまえだに  
上庄川水系石戸前谷



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	雑穀谷事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局 今井 一之		事業 主体	富山県															
実施箇所	富山県中新川郡立山町芦峠寺																					
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成41年度																		
総事業費 (億円)	15																					
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本溪流は平均溪床勾配が約1/5と急流であり、山腹の風化が著しく、溪床には不安定な土砂が多量に堆積し、出水により幾度となく土砂が流出している。</li> <li>・これまで砂防堰堤12基、床固工3基を整備してきているが、土砂災害に対し、未だ不十分である。</li> <li>・今後豪雨発生の際には、称名滝へのアクセスルートである県道をはじめ、下流の富山平野の人家2,580戸や公共施設等(富山市上滝地内)に多大な被害を及ぼす恐れがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <p>降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による県道、人家、公共施設等への被害を軽減する。</p> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	保全対象:人家2,580戸、富山市大山行政センター、上滝小学校、県道富山上滝立山線等、鉄道富山地方鉄道上滝線 等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	54	C:総費用(億円)	18	B/C	3.0	B-C	36	EIRR (%)	18.0%												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.7</td> <td>~ 3.4</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.9</td> <td>~ 3.0</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.7</td> <td>~ 3.3</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.7	~ 3.4	残工期(+10%~-10%)	2.9	~ 3.0	資産(-10%~+10%)	2.7	~ 3.3
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	2.7	~ 3.4																				
残工期(+10%~-10%)	2.9	~ 3.0																				
資産(-10%~+10%)	2.7	~ 3.3																				
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、計画規模の豪雨による土石流等について人家2,580戸や県道富山上滝立山線等への被害が軽減される。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成31年2月に事業評価を実施しており、その後の社会情勢の変化はない																					

# 雑穀谷事業間連携砂防等事業 位置図



じょうがんじがわ ざっこくたに  
常願寺川水系雑穀谷



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	大岩川事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部砂 防計画課 今井 一之	事業 主体	富山県																
実施箇所	富山県中新川郡上市町大岩																					
主な事業 の諸元	主要施設: 砂防堰堤																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度																		
総事業費 (億円)	0.5																					
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本溪流は土石流危険溪流(Ⅰ)に指定されており、平均溪床勾配が1/10と急流である。</li> <li>・溪岸侵食が著しく、河床には有害な土砂や流木が堆積している。</li> <li>・出水により土石流が発生し、下流の人家や県道宇奈月大沢野線や町道、郵便局などの公共施設に甚大な被害を及ぼす恐れがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <p>降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による県道、人家、公共施設等への被害を軽減する。</p> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	保全対象: 人家22戸、田畑1.4ha、郵便局、県道宇奈月大沢野線(避難経路)、町道林道840m、橋梁5基																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	9.2	C:総費用(億円)	3.8	B/C	2.4	B-C	5.4	EIRR (%)	8.9%												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.4</td> <td>~ 2.5</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.4</td> <td>~ 2.4</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.3</td> <td>~ 2.5</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.4	~ 2.5	残工期(+10%~-10%)	2.4	~ 2.4	資産(-10%~+10%)	2.3	~ 2.5
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	2.4	~ 2.5																				
残工期(+10%~-10%)	2.4	~ 2.4																				
資産(-10%~+10%)	2.3	~ 2.5																				
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、計画規模の豪雨による土石流等について人家22戸や県道宇奈月大沢野線等への被害が軽減される。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成31年2月に事業評価を実施しており、その後の社会情勢の変化はない																					



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	小豆谷事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局 今井 一之	事業 主体	富山県												
実施箇所	富山県中新川郡立山町芦峯寺																
主な事業 の諸元	主要施設:砂防堰堤																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度													
総事業費 (億円)	4.4																
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該箇所は砂防設備が整備されていないことから、土砂氾濫時には下流での被害が生じる恐れがある。</li> <li>・下流域には指定避難所かつ指定緊急避難場所となっている旧立山芦峯小学校や、第2次緊急通行確保路線となっている県道富山立山公園線、人家1戸が位置している。</li> <li>・土石流危険渓流であり、平均渓床勾配が約1/5と急流でとなっており、流域内には流木や不安定な土砂が多量に堆積しているため、下流域に甚大な被害を生じる恐れがある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <p>降雨により下流へ流出する土砂について対策施設の整備を行い、土砂・洪水氾濫等による県道、人家等への被害を軽減する。</p> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																
便益の主 な根拠	保全対象:指定避難所1件、第2次緊急通行確保路線(県道富山立山公園線)、人家1戸																
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成29年度															
	B:総便益 (億円)	6.1	C:総費用(億円)	2.5	B/C 2.5 B-C 4 EIRR (%) 11.7%												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.2</td> <td>~ 2.8</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.5</td> <td>~ 2.5</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.4</td> <td>~ 2.7</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.2	~ 2.8	残工期(+10%~-10%)	2.5	~ 2.5	資産(-10%~+10%)	2.4	~ 2.7
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	2.2	~ 2.8															
残工期(+10%~-10%)	2.5	~ 2.5															
資産(-10%~+10%)	2.4	~ 2.7															
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、計画規模の豪雨による土石流等について人家1戸や県道富山立山公園線等への被害が軽減される。																
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成31年2月に事業評価を実施しており、その後の社会情勢の変化はない																



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	諏訪町地区事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部砂 防計画課 今井 一之	事業 主体	富山県												
実施箇所	富山県富山市八尾町諏訪町																
主な事業 の諸元	法面工、地下水排除工																
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度													
総事業費 (億円)	1.6																
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地すべり防止区域内には人家16戸や国道472号が存在しており、地すべりが発生した場合、地域の生活や経済に与える影響は極めて大きい。</li> <li>・地区内では、近年湧水、民家基礎等の変状が見受けられ、地すべりの発生が懸念される箇所であることから、集落と道路等を保全するため、早急に地すべり対策を行い、住民の安全を確保する必要がある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地すべり対策工を実施し、地すべり等による人家、国道等への被害を軽減するため、斜面の土砂災害防止を図る。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標：水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標：水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																
便益の主 な根拠	保全対象：人家16戸、国道472号 等																
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度															
	B:総便益 (億円)	10	C:総費用(億円)	4.7	B/C 2.1 B-C 5.3 EIRR (%) 9.3												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.1</td> <td>~ 2.2</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.1</td> <td>~ 2.1</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.1</td> <td>~ 2.2</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.1	~ 2.2	残工期(+10%~-10%)	2.1	~ 2.1	資産(-10%~+10%)	2.1	~ 2.2
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	2.1	~ 2.2															
残工期(+10%~-10%)	2.1	~ 2.1															
資産(-10%~+10%)	2.1	~ 2.2															
事業の効 果等	・当該事業を実施することにより、地すべり等による人家16戸、国道472号等への被害が軽減される。																
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成31年2月に事業評価を実施しており、その後の社会情勢の変化はない																



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	北山地区事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部砂 防計画課 今井 一之	事業 主体	富山県																
実施箇所	富山県富山市山田北山																					
主な事業 の諸元	アンカー工、法枠工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成35年度																		
総事業費 (億円)	2.6																					
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地すべり防止区域内には人家12戸、県道富山庄川線などがあり、地すべりの発生により地域の生活に与える影響は極めて大きい。</li> <li>・平成23年度に斜面崩壊が発生している過去があり、平成23年度より対策工を進めているが、依然として不安定な状態であり、今後も継続して地すべり対策を行い、住民の安全を確保する必要がある。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地すべり対策工を実施し、地すべり等による人家、県道等への被害を軽減するため、斜面の土砂災害防止を図る。</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	保全対象: 人家12戸、県道富山庄川線、市道300m 等																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度																				
	B:総便益 (億円)	12	C:総費用(億円)	6.1	B/C	1.9	B-C	5.4	EIRR (%)	8.8												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>1.8</td> <td>~ 1.9</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>1.9</td> <td>~ 1.9</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>1.8</td> <td>~ 2.0</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	1.8	~ 1.9	残工期(+10%~-10%)	1.9	~ 1.9	資産(-10%~+10%)	1.8	~ 2.0
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	1.8	~ 1.9																				
残工期(+10%~-10%)	1.9	~ 1.9																				
資産(-10%~+10%)	1.8	~ 2.0																				
事業の効 果等	・当該事業を実施することにより、地すべり等による人家12戸、主要地方道富山庄川線等への被害が軽減される。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成31年2月に事業評価を実施しており、その後の社会情勢の変化はない																					



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	長坂地区事業間連携砂防等事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部砂防計画課 今井 一之	事業 主体	富山県
実施箇所	富山県氷見市長坂				
主な事業 の諸元	地下水排除工、抑止工				
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成37年度	
総事業費 (億円)	1.7				
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地すべり防止区域内には一般県道平阿尾線や市道、農道、人家48戸が存在しており、地すべりが発生した場合、地域に与える影響が大きい。</li> <li>・近年、ひび割れが発生し、地すべりの兆候が確認された斜面下には、人家4戸、市道が存在している。</li> <li>・上記箇所では、平成8年度に同様なひび割れが発生し、避難勧告が発令されている。</li> <li>・また、平成23年9月にも水田や農道にひび割れが発生している。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <p>地すべり対策を実施し、人家や一般県道平阿尾線等への地すべりによる被害を軽減する。</p> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標: 水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>				
便益の主な 根拠	保全対象: 人家4戸、県道平阿尾線、市道150m 等				
事業全体の 投資効率性	基準年度	平成29年度			
	B:総便益 (億円)	4.2	C:総費用(億円)	1.9	B/C 2.2 B-C 2.3 EIRR (%) 10%
感度分析	<p>全体事業(B/C)</p> <p>残事業費(+10%~-10%) 2.0 ~ 2.4</p> <p>残工期(+10%~-10%) 2.2 ~ 2.2</p> <p>資産(-10%~+10%) 2.1 ~ 2.5</p>				
事業の効果等	・当該事業を実施することにより、地すべり等による人家4戸、一般県道平阿尾線等への被害が軽減される。				
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成31年2月に事業評価を実施しており、その後の社会情勢の変化はない				



<新規事業採択時評価>

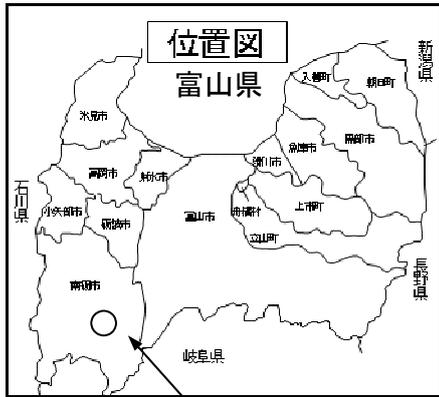
事業名 (箇所名)	坪野地区事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部砂防計画課 今井 一之		事業 主体	富山県			
実施箇所	富山県小矢部市谷坪野									
主な事業 の諸元	地下水排除工、抑止工									
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成34年度						
総事業費 (億円)	3.0									
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地すべり防止区域内には一般国道471号や市道、農道、人家4戸が存在しており、地すべりが発生した場合、地域に与える影響が大きい。</li> <li>・国道路面や擁壁にクラックが発生するなど、災害発生の危険性が高い。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <p>地すべり対策を実施し、地すべり等による一般国道471号等への被害を軽減する。</p> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標：水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標：水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>									
便益の主 な根拠	保全対象：人家4戸、一般国道471号、県道 130m 等									
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成30年度							
	B:総便益 (億円)	6.5	C:総費用(億円)	4.9	B/C	1.3	B-C	1.6	EIRR (%)	5.7%
感度分析	<p>全体事業(B/C)</p> <p>残事業費(+10%~-10%) 1.3 ~ 1.4</p> <p>残工期(+10%~-10%) 1.3 ~ 1.3</p> <p>資産(-10%~+10%) 1.3 ~ 1.4</p>									
事業の効 果等	・当該事業を実施することにより、地すべり等による人家4戸、国道471号等への被害が軽減される。									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成31年2月に事業評価を実施しており、その後の社会情勢の変化はない									



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	大島地区事業間連携砂防等事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局砂防部砂防計画課 今井 一之		事業 主体	富山県															
実施箇所	富山県南砺市箆渡																					
主な事業 の諸元	地下水排除工																					
事業期間	事業採択	平成31年度	完了	平成32年度																		
総事業費 (億円)	1.3																					
目的・必要 性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地すべり防止区域内には国道156号や市道、農道、人家25戸が存在しており、地すべりが発生した場合、地域に与える影響が大きい。</li> <li>・近年、ひび割れが発生し、地すべりの兆候が確認された斜面上部には、人家、農道が存在している。</li> <li>・当該箇所では舗装及び民家の基礎等にクラックが見られる。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <p>地すべり対策を実施し、人家や一般国道156号等への地すべりによる被害を軽減する。</p> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策目標:水害等による被害の軽減</li> <li>・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</li> </ul>																					
便益の主 な根拠	保全対象:人家25戸、国道156号、市道600m、農道200m																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成29年度																			
	B:総便益 (億円)	16	C:総費用(億円)	5.5	B/C	2.9	B-C	10.6	EIRR (%)	12.6%												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.9</td> <td>~ 2.9</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.9</td> <td>~ 2.9</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.8</td> <td>~ 3.0</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.9	~ 2.9	残工期(+10%~-10%)	2.9	~ 2.9	資産(-10%~+10%)	2.8	~ 3.0
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	2.9	~ 2.9																				
残工期(+10%~-10%)	2.9	~ 2.9																				
資産(-10%~+10%)	2.8	~ 3.0																				
事業の効 果等	・当該事業を実施することにより、地すべり等による人家25戸、国道156号等への被害が軽減される。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成31年2月に事業評価を実施しており、その後の社会情勢の変化はない																					

# 大島地区事業間連携砂防等事業 位置図



おおしま  
大島地区  
地すべり防止区域

